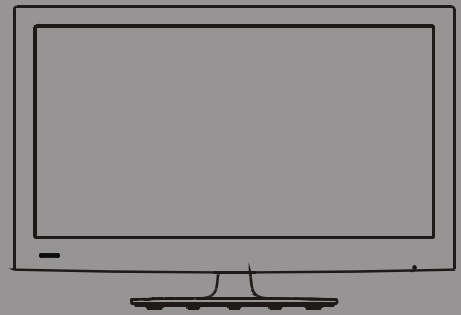


取扱説明書



BS・110度CS・地上デジタルチューナー内蔵
ハイビジョン液晶テレビ 32型

LHD32K15JP

はじめに ▶

機器の準備を
する ▶

テレビを見る ▶

設定メニュー
を使う ▶

接続した機器
を使う ▶

その他の情報 ▶

Hisense[®] ハイセンス



お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(2 ページ) は、ご使用前に必ずお読みいただき 安全にお使いください。

お読みになった後は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

● 安全上のご注意

ご使用前に本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。



警告

この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故が起こる可能性があります。



注意

この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。

図記号の意味 (例)



気をつけていただきたいという記号です。



してはいけないという記号です。



していただきたいという記号です。



警告 (移動、設置)



正しい方法で運搬 / 移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。テレビの底面を持つときは、後ろ側から手を回してしっかりと持ってください。修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。



運搬 / 移動するときは接続されている線などをすべて外す

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブル等を全てはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中をご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- ・棚や押入の中に置かない。
- ・ホットカーペットの上に置かない。
- ・布をかけない。



警告（移動、設置）（つづき）



周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通気孔がふさがって内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。下記以上の間隔を空けて、熱がこもらないように設置してください。

- ・ 上部：30 cm
- ・ 左右：10 cm
- ・ 下部：10 cm（壁掛けの場合）
- ・ 背面：6 cm



壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者に付けてもらう



設置時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人を取り付けたり、取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。



スタンドを正しく取り付け、転倒防止の処置を必ず行う

スタンドは本書にしたがって正しく取り付けてください。また、スタンドや床、壁などの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。



乗り物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したりして、けがの原因となることがあります。塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。



湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉の脱衣場などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。



本機を医療機器の近くに設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。



水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用は特にご注意ください。



本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かず本機に触れると、感電の原因となることがあります。




目や口に液晶を入れない / ガラスの破片に触れない


液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをすおそれがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。臭いをかぐこともやめてください。誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

安全上のご注意 (つづき)


警告 (電源コード・プラグ)

-  コンセントや配線機器の定格を超える使いかたや、交流 100V (50/60Hz) 以外では使用しない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の原因となります。海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

-  電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない


電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線) 交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

-  電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

火災・感電の原因となります。

-  ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

-  電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続すると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源コードを本機につないでから電源プラグを壁のコンセントに差し込んでください。

-  電源プラグは定期的にお手入れを


電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

-  お手入れの際、電源プラグを抜く


電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

-  ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になることがあります。

-  電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

-  雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



警告（使用）



本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。



煙やにおい、音などの異常が発生したら、 本機の電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をお買い上げ店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。



内部に水や異物を入れない

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水が異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理をお買い上げ店に依頼してください。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。



警告（電池）



電池を火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱、充電しない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池はプラスとマイナスの向きに注意し、 機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

安全上のご注意 (つづき)



注意



お手入れのときや、旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

お手入れのときや、本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。



電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。



人が通行するような場所に置かない・コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。



風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



たこ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。



重いものを置いたり、上に乗ったりしない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



液晶画面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。



内部の掃除をお買い上げ店に依頼する

内部にほこりがたまると火災・故障の原因となることがあります。3年に1度は内部の掃除をお買い上げ店にご依頼ください。



音量について

周囲の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時等に避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。



アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。



注意（電池）



指定された種類の電池を使用する

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池は幼児の手の届くところに置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。



電池の液がもれたときは素手でさわらない

- ・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- ・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に霜害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。



廃棄するときは

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。



注意（廃棄）



一般の廃棄物と一緒にしない

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。



家電リサイクル法に従って廃棄する

家電リサイクル法の規定により、お客様がご使用済みのテレビを廃棄される場合は、収集・運搬と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村等の自治体に適正に引き渡すことが求められています。詳細に関するお問い合わせは、家電リサイクル券センターまでお願いいたします。(2011年1月現在)
電話：(フリーダイヤル) 0120-319640
ホームページ (URL) :
http://www.rkc.aeha.or.jp/text/p_procedure_s.html

目次

安全上のご注意	2	テレビを見る	35
警告（移動、設置）	2	共通の操作	36
警告（電源コード・プラグ）	4	チャンネルを選ぶ	37
警告（使用）	5	デジタル放送を楽しむ	38
警告（電池）	5	映像と音の操作	40
注意	6	設定メニューを使う	41
注意（電池）	7	設定メニューについて	42
注意（廃棄）	7	映像設定	43
はじめに	9	音声設定	46
本書の読みかた	10	機器設定	48
説明のしかたについて	10	初期設定	53
アイコンについて	10	画面調整	58
使用上のご注意・お手入れについて	11	接続した機器を使う	59
各部の名前	13	接続した機器の映像を見る	60
本体操作部	13	接続した機器を通して音声を聞く	61
本体接続部	14	その他の情報	63
リモコン	15	故障かな？と思ったら	64
機器の準備をする	17	お問い合わせの前に	64
付属品を確認する	18	原因と対策	64
リモコンについて	19	用語の解説	70
デジタル放送について	20	主な仕様	72
デジタル放送の特徴	20	保証とアフターサービス	74
本機で視聴可能なデジタル放送の種類	21		
デジタル放送を視聴するための準備	21		
設置のしかた	22		
設置の手順	22		
B-CAS カードを入れる	24		
アンテナの接続	25		
VHF/UHF アンテナを接続する	25		
BS・110度CS 共用アンテナを接続する	26		
マンションなどの共聴システムで接続する	26		
LAN への接続（双方向通信用）	27		
他の機器との接続	28		
DVD プレーヤーなどを接続する	28		
パソコンを接続する	30		
AV アンプなどを接続する	31		
ヘッドホンを接続する	31		
電源コードの接続	32		
接続する	32		
電源に関するご注意	32		
テレビを見るための準備	33		

はじめに

この章では、本機をご利用いただく上での注意事項や各部の名前など、最初に知っておいていただきたい内容を記載しています。

	ページ
本書の読みかた	10
使用上のご注意・お手入れについて	11
各部の名前	13

● 本書の読みかた

説明のしかたについて

- 本書は、リモコンでの操作を前提に説明をしております。特に必要がある場合を除いて、リモコンのみでの操作説明とさせていただきます。
- 文中の太字は画面に表示される選択項目、カッコ付きの太字はボタン名を表しています。

例)

選択項目：**受信設定** / **リモコン設定** / **受信レベル**
ボタン名：**[電源]** / **[映像切換]** / **[決定]**

- 説明文中の用語には、専門性が高くわかりにくい言葉も含まれます。わかりにくい言葉については、「用語の解説」(70 ページ)をご覧ください。

● 映像と音の操作

チャンネル情報を表示する

チャンネル情報を表示させます。

- **[画面表示]** を押す
もう一度 **[画面表示]** を押すと、表示が消えます。

画面モードを切り換える

画面の解像度を切り換えます。

- **[画面モード]** を押す
押すごとに、入力の種類ごとに設定されている画面モードの選択順の中で切り換わります。

お知らせ

- 入力信号を確認するには **[番組内容]** を押してください。

画面を静止させる

視聴中の画面の静止 / 再始動をします。

- **[静止画]** を押す
もう一度 **[静止画]** を押すと、もとに戻ります。

お知らせ

- VGA モードでは静止画機能は働きません。

字幕を切り換える

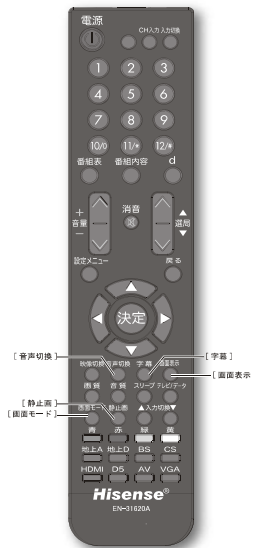
本機に出力する字幕の言語を切り換えます。

- **[字幕]** を押す
字幕データ付きの放送受信時に、オフ / 字幕第一言語 / 字幕第二言語の中で切り換わります。

音声を切り換える

番組ごとに設定された音声の種類があるときに、これを切り換えます。

- **[音声切換]** を押す
押すごとに、番組ごとに設定されている音声の選択順の中で切り換わります。(74 ページ)



40

LHD32K15JP

アイコンについて

⚠️ ご注意

説明文中で、とくにご注意頂きたい点を説明する際に使用しています。重要な内容を含みますので、必ずお読みください。

お知らせ

本機を快適にお使いいただく上で知っておいていただきたい内容を説明する際に使用しています。できるだけお読みください。

● 使用上のご注意・お手入れについて

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒いところでご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元にもどります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種の機能設定データや放送局からのメール・番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄・譲渡などする場合には、上記のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。予めご了承ください。
- 何らかの原因でコンテンツが外部録画機器で記録できなかった場合や、外部録画機器で記録されたコンテンツが破損あるいは消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

スクリーン画面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その販売会社にご確認下さい。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりすると、映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げ店にご相談ください。



使用上のご注意・お手入れについて（つづき）

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

長時間ご使用にならないとき

- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差ししてください

- 必要以外に抜き差しすると、故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようにご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないように挿入してください。

取り扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷えきった状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。
- 周辺温度は 0～35℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

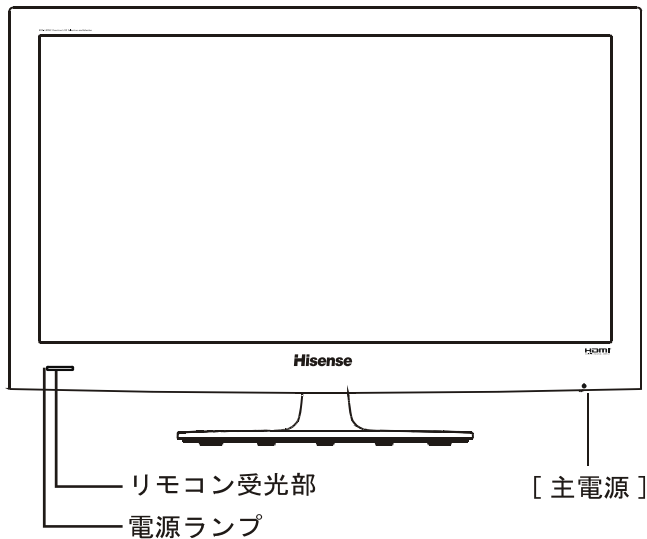
映像や音声の遅れについて

- テレビ放送、外部入力ソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください

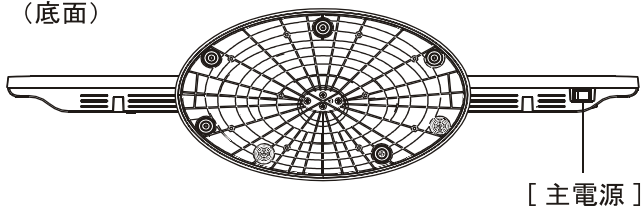
各部の名前

本体操作部

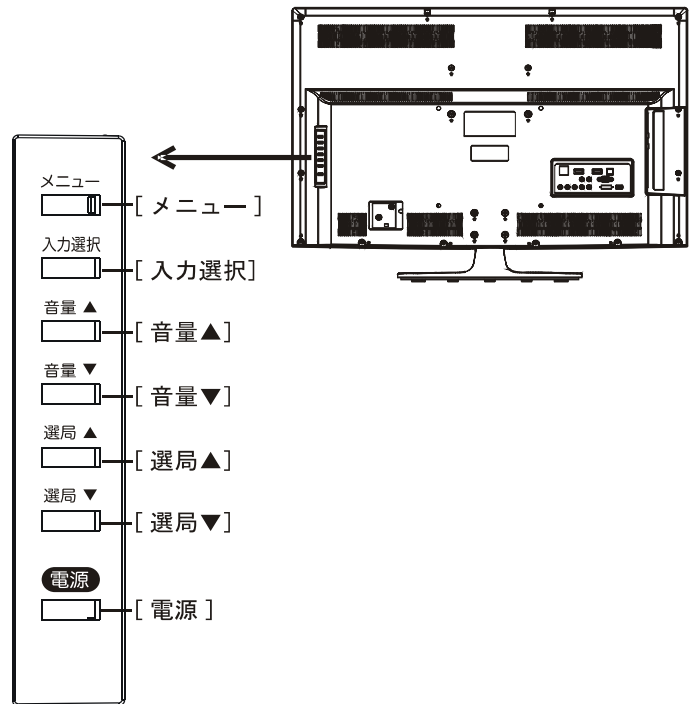
(正面)



(底面)



(背面)



はじめに

[主電源]

本機の電源をオン・オフします。

- 以下の側面のボタンは、いずれか一つを押すと青色のランプが点灯し、入力を受け付けるようになります。

[メニュー]

設定メニューを表示します。

[入力選択]

入力選択モードに入ります。画面に選択画面が表示されます。[選局▲]/[選局▼]を押して入力を選択します。

[音量▲]/[音量▼]

スピーカー（またはヘッドホン）からの音量調整を行います。

[選局▲]/[選局▼]

チャンネルの順送りによる選局を行います。

[電源]

待機状態（電源ランプ：赤）と電源オン（電源ランプ：青）の切り替えを行います。

⚠️ ご注意

- 待機状態（電源ランプ：赤）のときは、電源を切った状態と比較して消費電力が高くなります。旅行などで本機を長時間使用されないときは、本体の[主電源]をオフにしてください。

設定メニュー表示中の操作

[メニュー]

ひとつ前のメニューに戻ります。

[入力選択]

メニュー項目を選択します。

[選局▲]/[選局▼]

上下の移動を行います。

[音量▲]/[音量▼]

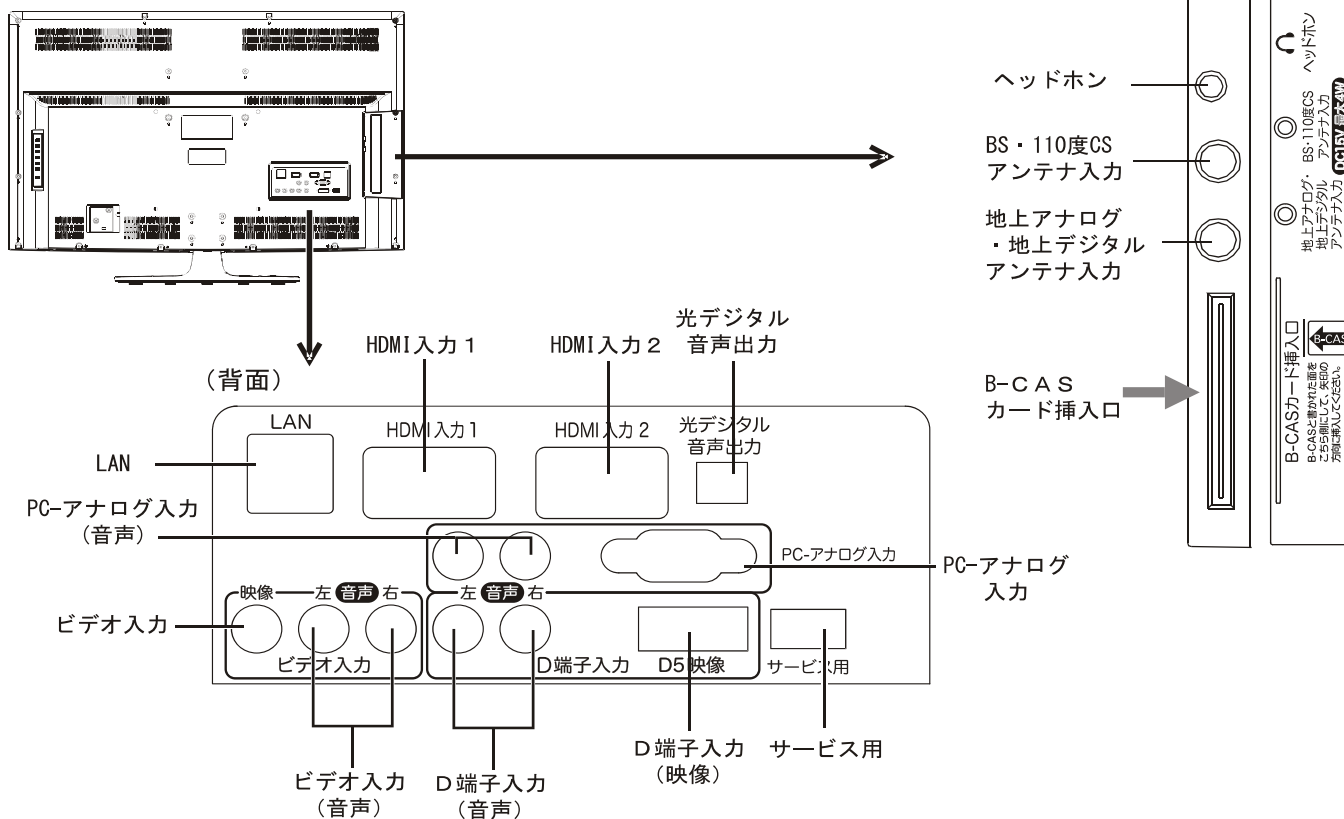
左右の移動を行います。

各部の名前 (つづき)

本体接続部

(背面)

(側面)



(側面)

B-CAS カード挿入口

B-CAS カードを挿入します。

地上アナログ・地上デジタルアンテナ入力

アンテナケーブルを使用して、地上アナログ・デジタルアンテナを接続します。

BS・CS110度アンテナ入力

アンテナケーブルを使用して BS・CS110度アンテナを接続します。

ヘッドホン

ヘッドホンを接続します。ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーの音は消えます。

(背面)

HDMI 入力 1 / HDMI 入力 2

市販の HDMI ケーブルを使用して対応機器を接続します。

PC-アナログ入力 / 音声

市販の音声ケーブル (ミニステレオ) を使用してパソコンを接続します。

D端子入力 (映像 / 音声)

市販の D 端子ケーブル・音声ケーブルを使用して対応機器を接続します。

光デジタル音声出力

市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

PC-アナログ入力

市販の VGA ケーブルを使用してパソコンを接続します。

ビデオ入力 / ビデオ入力 (音声)

市販の AV ケーブルを使用して対応機器を接続します。

サービス用

サービスの者が使用いたします。お客様は何も接続しないでください。

リモコン

[電源]

待機状態（電源ランプ：赤）と電源オン（電源ランプ：青）の切り替えを行います。

発光ランプ

リモコンから信号が送られる時に点灯します。

[画面表示]

受信チャンネルなどの情報を表示します。

[入力切換]

入力信号の選択を行います。

[1] ~ [12] (数字ボタン)

チャンネルの直接選局などの数字入力に使用します。

[番組表]

デジタル放送受信中に番組表を表示します。

[番組内容]

現在視聴しているデジタル放送番組の詳細情報を表示します。

[CH入力]

デジタル放送またはCATVチャンネルのチャンネル番号を直接入力して選局するとき使用します。

[音量+]/[音量-]

スピーカー（またはヘッドホン）の音量を調節します。

[消音]

消音します。

[選局▲]/[選局▼]

チャンネルの順送りによる選局を行います。

[設定メニュー]

設定メニューを表示します。

[d]

デジタル放送番組に連動したデータ放送画面に切り換えます。

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

メニュー操作中などに、項目を選びます。

[決定]

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]での選択を確定します。

[映像切換]

デジタル放送のマルチビューサービスの映像切り換えに使用します。（本機は対応していません。）

[音声切換]

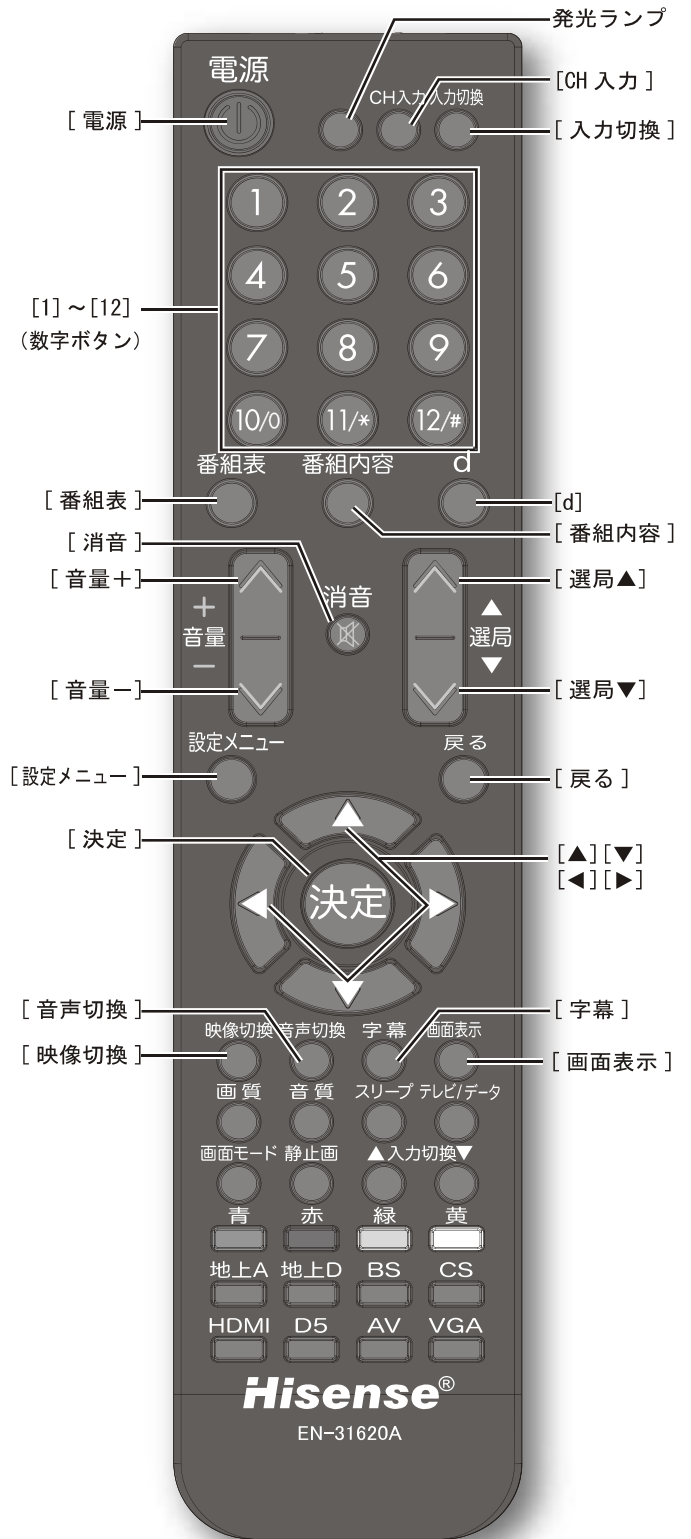
複数の音声があるときにこれを切り換えます。

[字幕]

デジタル放送で字幕があるとき、これを切り換えます。

[戻る]

前の表示に戻ります。



はじめに

リモコン (つづき)

[画質]

画質を設定します。

[音質]

音質を設定します。

[スリープ]

スリープタイマーを設定します。

[テレビ / データ]

デジタル放送のサービス種別 (テレビ放送 / データ放送) を切り換えます。独立したデータ放送に切り換える場合には、このボタンを押します。ラジオ放送には本機は対応していません。

お知らせ

- Gガイドは、地上デジタルGガイド対応受信機向けのチャンネルです。映像や音声はありません。

[画面モード]

画面モードを選択します。

[静止画]

ボタンを押した瞬間の表示で静止させます。もう一度押すともとに戻ります。

[▲入力切換]/[入力切換▼]

入力の順送りによる選択を行います。

[青]/[赤]/[緑]/[黄]

デジタル放送中受信中の双方向サービスでの項目選択や、デジタルメニュー中の操作選択をします。

[地上 A]

地上アナログ放送を受信します。

[地上 D]

地上デジタル放送を受信します。

[BS]

BS デジタル放送を受信します。

[CS]

110度CS デジタル放送を受信します。

[HDMI]

HDMI 入力 1、または HDMI 入力 2 に切り換えます。

[D5]

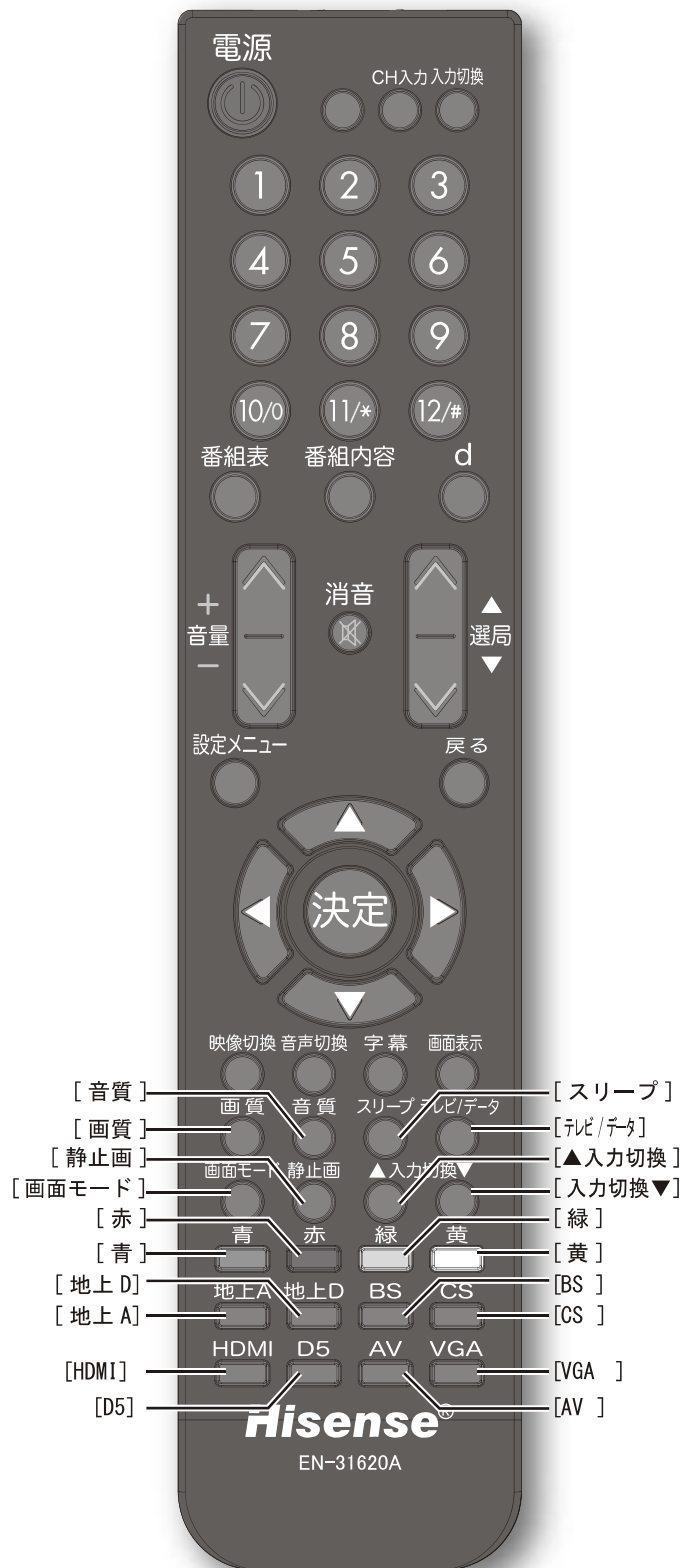
D 端子 入力 1 または D 端子 入力 2 に切り換えます。

[AV]

AV (ビデオ入力) に切り換えます。

[VGA]

VGA (PC- アナログ入力) に切り換えます。



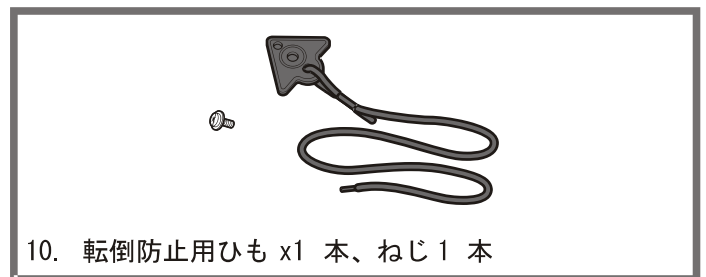
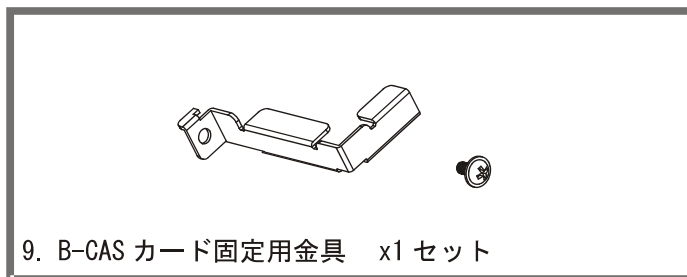
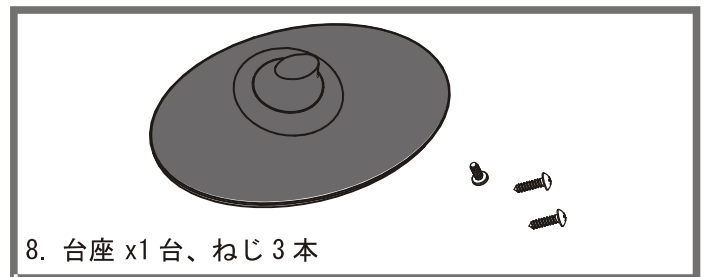
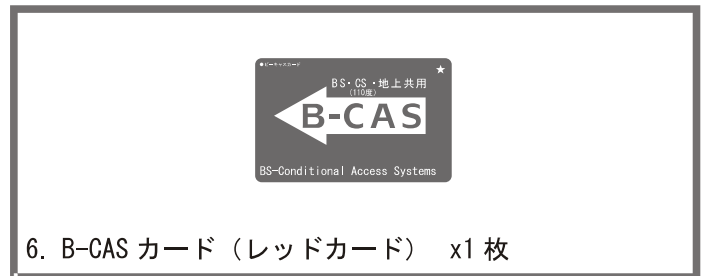
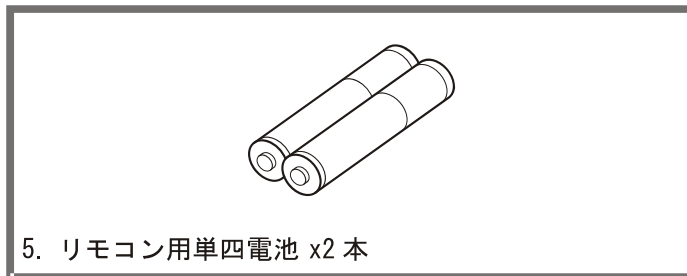
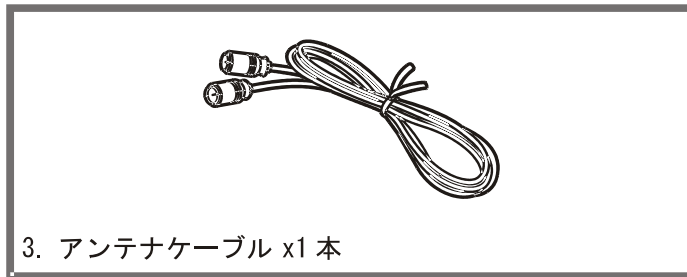
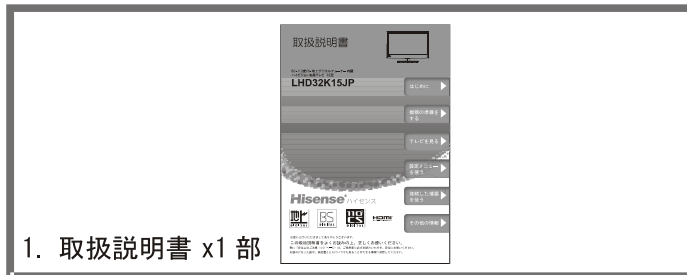
機器の準備をする

この章では、本機や本機に接続する機器の設置および設定方法などについてご説明いたします。

	ページ
付属品を確認する	18
リモコンについて	19
デジタル放送について	20
設置のしかた	22
アンテナの接続	25
LAN への接続（双方向通信用）	27
他の機器との接続	28
電源コードの接続	32
テレビを見るための準備	33

● 付属品を確認する

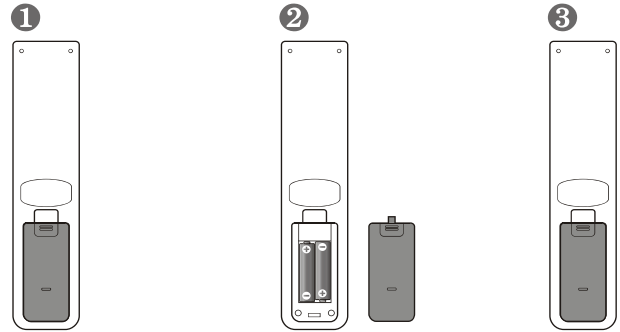
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。



● リモコンについて

電池の入れ方

- ① 電池カバーを開ける
- ② + 極、一極の向きを確認し、正しい方向で単 4 電池 2 本を入れる
- ③ 電池カバーがカチッというまで押して閉める



⚠️ ご注意

電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することがあります。特に以下の点に注意してお使いください。

- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 使えなくなった電池はすぐに取り出す。
- 液漏れした電池は使用しない。

漏れた液に触れると肌が荒れることがあります。万一、液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

お知らせ

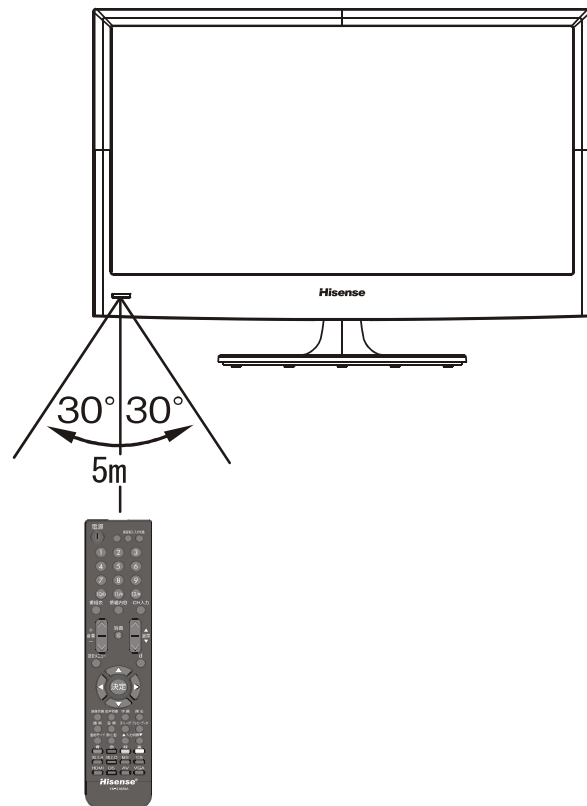
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。
- 電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

操作のしかた

本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

⚠️ ご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり、放置したりしないでください。熱により変形することがあります。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなる場合があります。その場合は照明または本体の向きを変えるか、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコンを操作してもテレビが動作しない場合は、新しい電池と交換してください。



● デジタル放送について

本機では地上アナログ放送の他に、3種類のデジタル放送を視聴することができます。デジタル放送では、以下のようアナログ放送には無い機能を楽しむことができます。

デジタル放送の特徴

高画質・高品質

デジタル放送では、従来のアナログ放送で見られるようなゴースト（映像の二重化）やスノーノイズ（雪が舞っているようなちらつき）といった映像の乱れが起こりません。なかでもデジタルハイビジョン放送では、アナログの通常放送と比較して走査線数（ブラウン管方式のテレビの映像の細密度を示す指数）で約2倍、解像度にして約8倍の高精細映像を楽しむことができます。音声についても、音質が劣化しにくい方式で伝送しているため、高音質な音声を再現できます。

データ放送

テレビ番組と連動したデータ放送や、天気予報や地域情報などの独立したデータ放送の受信ができます。

電子番組表（EPG）

デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。これを利用して画面上に番組表を表示することができます。

したがって、最初にご使用になる時、設定の初期化（57ページ）後、あるいは電源を長期間（一週間以上）外していた場合などには、表示されません。また、電源オフ（電源ランプ消灯）の場合は最新の番組表に更新されません。電源待機状態（電源ランプが赤）の状態であれば自動的に受信して最新の番組表に更新されます。

双方向サービス

テレビ上でのショッピングやリクエスト、クイズ番組の解答など、視聴者として番組に参加することができます。双方向通信をなさりたい場合はADSLなどのサービスを提供するプロバイダーとの契約が必要です

マルチ（複数）チャンネル

デジタル放送では、一つのチャンネルあたり、6MHzの帯域が与えられています。この帯域はさらに430kHzずつ、13のセグメントとよばれる帯域に分割されています。この13のセグメントのうち、デジタルハイビジョン放送（HDTV）では、12セグメントを使って放送されます。標準画質放送（SDTV）の場合は一つの番組では4セグメントしか使わないので、一度に3つの番組を放送することができます。

なお、本機は受信中の放送がHDかSDかを自動判別して映像を表示します。

デジタル音声放送（デジタルラジオ）

（本機は対応しておりません）

従来のアナログラジオ放送（AM、FM、短波）とは異なり、音楽CD並みに高音質な音声のみの放送を楽しむことができます。地上デジタル音声放送（デジタルラジオ）には、本機は対応しておりません。

臨時編成サービス

スポーツ中継が延長になった場合などに、別チャンネルで予定されていた番組を放送することができます。（イベントリレー）

字幕放送

デジタル放送の番組のせりふなどの音声を、文字にして画面に表示させることができます。

文字スーパー

地域情報や速報など、番組に連動しない文字情報（文字スーパー）を画面に表示することができます。

緊急警報放送

地震など大規模災害が発生した場合や、津波警報が発表された場合などに放送される警報放送です。災害の発生に伴う被害の予防や軽減に役立たせることを目的としています。本機では、現在視聴中のチャンネルで緊急警報放送が開始された場合、「緊急警報放送を行っております。」のメッセージを表示します。

マルチビューサービス

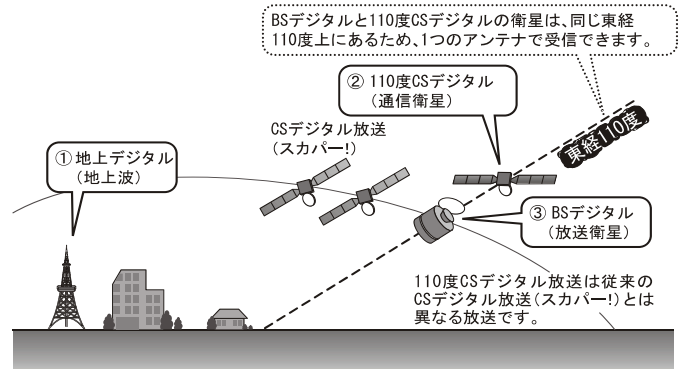
（本機は対応しておりません）

放送中の番組を、別のカメラから見た視点で見ることができます

※上記のサービスや機能は、全てのデジタル放送の種類や放送局、番組で行っているというものではありません。

本機で視聴可能なデジタル放送の種類

本機で視聴できるデジタル放送は、地上デジタル、BS デジタル、110度CS デジタルの3種類のみです。
スカパー！（スカパー！e2を除く）など、上記を除くデジタルCS放送には対応しておりません。



機器の準備をする

デジタル放送を視聴するための準備

アンテナ等について

デジタル放送を視聴するためには、受信用アンテナの用意する必要があります。また、BS・110度CSデジタル放送を受信するには、放送局や放送事業者を受信申し込みをする必要があります。

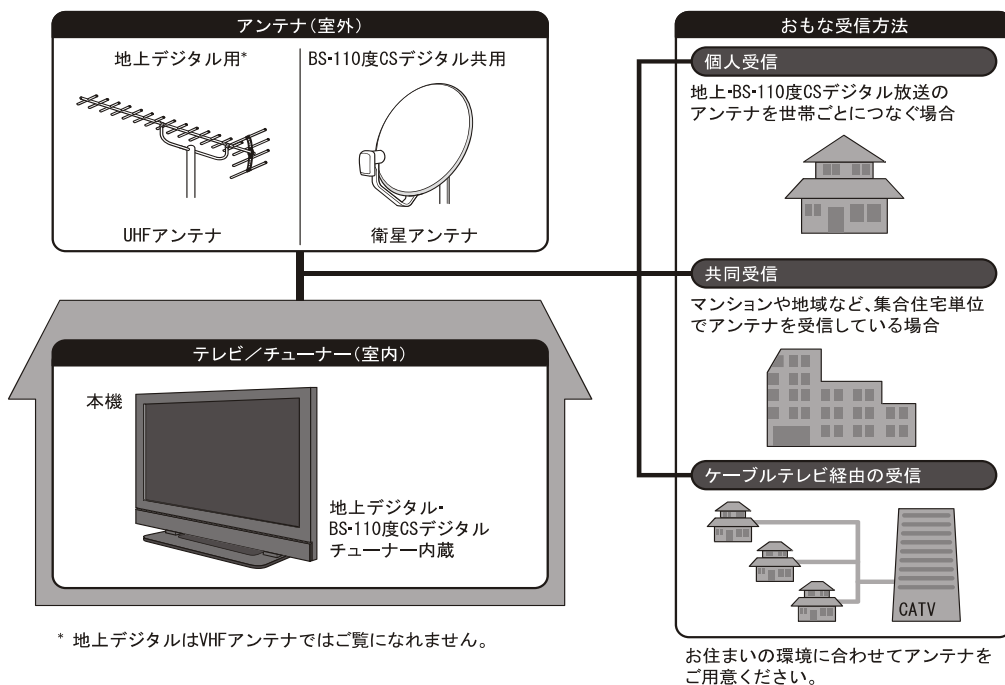
これらの準備の仕方は、本機をご使用になる環境によって異なります。詳しくはお買い上げ店等でご確認ください。

ケーブルテレビをご利用の場合

本機はケーブルテレビのパススルー方式（同一周波数またはUHF帯域周波数変換）および帯域外周波数パススルーに対応しております。詳しくはご契約のケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

お知らせ

- 地上デジタル放送の受信には、UHFアンテナを使用します。現在お使いのアンテナがUHF対応のものであれば、基本的にそのままご使用いただけますが、場合によっては調整やブースターの追加が必要になることもあります。詳しくは販売店等にお問い合わせください。
- 衛星放送用にはBS・110度CS共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 / ブースター / 分配器等は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。BSデジタル放送専用のアンテナでは110度CS放送は受信できません。



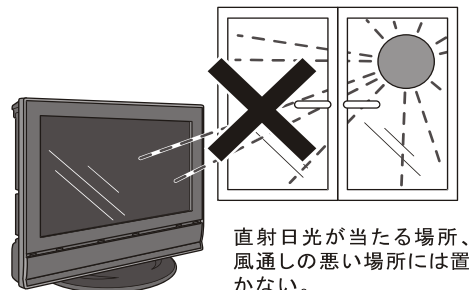
● 設置のしかた

本機は重量のある精密機器です。運搬や設置を行う際は、落下や転倒に十分注意してください。また、水平で安定した場所に設置するようにしてください。設置はできるだけ専門業者に依頼してください。

設置の手順

1 置く場所を決める

- 直射日光が当たらず、気温が安定している場所を選んでください。
- グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所を選んでください。

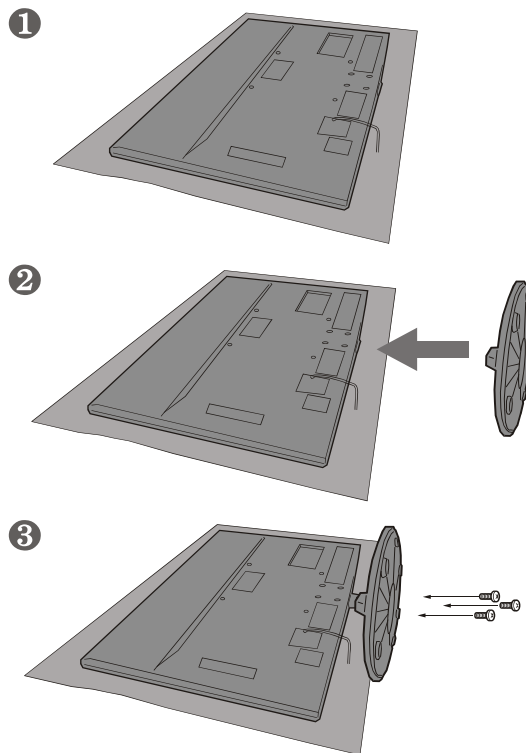


2 台座をつける

- ① 画面を傷つけないように毛布や保護シートを敷き、画面を下にして本機を置く
- ② 台座を本機の台座用の足にはめ込む
- ③ 本機と台座のねじ穴を合わせ、取付け用の3本のねじを使って台座をしっかりと止める

⚠️ ご注意

- 壁掛けの設置をする場合以外は、台座を外さないでください。
- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。



3 配置する

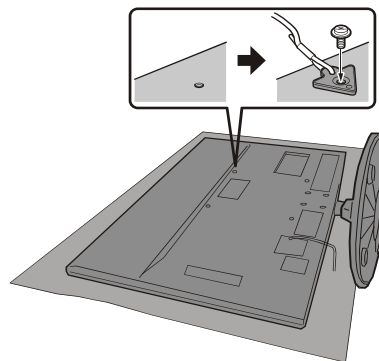
⚠️ ご注意

- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

4 転倒防止策を実施する

付属の転倒防止ひもを使って転倒防止策を実施してください。

- ① 転倒防止用ひもの金具部分を、本機の壁掛け金具用のネジの一つを使って本機に固定する
- ② ひものもう片方の端を市販のひもなどに結びつけ、その先を壁や柱にネジでしっかりと取り付ける



⚠️ ご注意

- 本機が転倒するとお客様の怪我や本機の故障につながります。必ず転倒防止策を行ってください。
- 上記の方法で本機の固定ができない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

壁に掛けるとき

本機を市販の壁掛け用の金具を使用して壁に掛けることもできます。

お知らせ

- 3本のねじをはずして本機の足をはずしてください。

⚠️ ご注意

- 壁に掛ける際は、必ずお買い上げ店または工事業者にご依頼ください。

通風孔について

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い場所(棚や押入れの中など)や、じゅうたんや布団の上に置かないでください。また布をかけたりしないでください。定期的に掃除機で通風孔にたまったごみを除去してください。

設置のしかた (つづき)

B-CAS カードを入れる

B-CAS カードについて

- 地上デジタル放送・BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送が視聴制限に使用しているのが B-CAS カードです。
- デジタル放送をお楽しみいただくためには、B-CAS カードを本機に挿入していただくことが必要です。同梱の B-CAS 用ユーザー登録はがきまたは Web によるユーザー登録をお勧めします。(登録は任意で無料です。)

お知らせ

- スカパー!e2、WOWOW などの有料サービスをご利用される場合は、別途契約が必要です。
- B-CAS カードに関するお問い合わせは、カードの裏面記載の(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでお願いいたします。

B-CAS カードの入れかた

- 1 本機の電源を切る
- 2 同梱の「ビーキャスト (B-CAS) カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解していただいた上で、台紙から B-CAS カードをはがす
- 3 B-CAS カードを挿入する

お知らせ

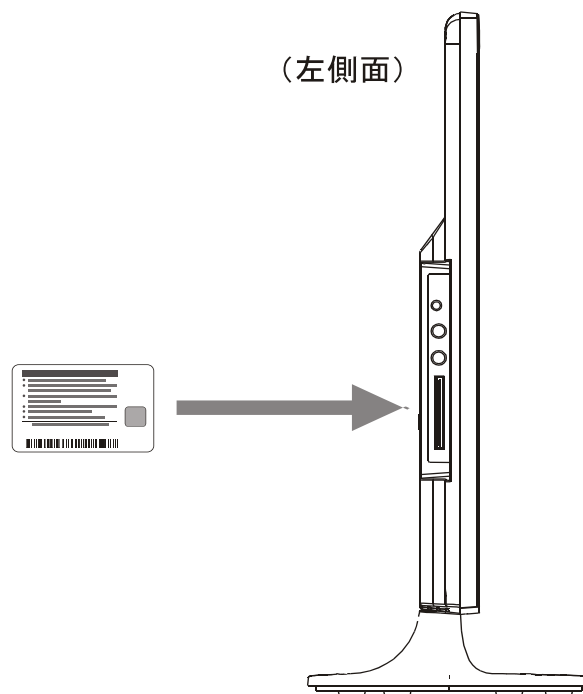
- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CAS カードの盗難等にご注意ください。他人がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合も、視聴料はお客様の口座に請求されます。
- B-CAS カードは(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されているものです。本機を廃棄なさる場合は同社にご返却ください。また本機を他の人に譲渡なさる場合は、新しい所有者の名義に変更してください。

取扱い上のご注意

- B-CAS カードを折り曲げたり、傷つけたりしないでください。破損等による B-CAS カードの再発行は有料です。
- B-CAS カードの金属部(集積回路)には触れないでください。
- B-CAS カードの抜き差しは、必要な場合を除いて行わないようにしてください。



(左側面)

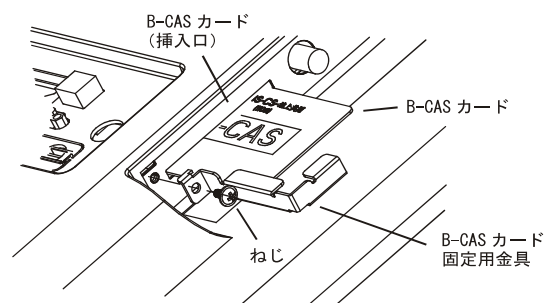


付属の B-CAS カード固定具について

付属の B-CAS カード固定具は、店頭展示や公共の場
所でご利用いただく場合の盗難防止用具です。ご家庭
等でご利用いただく場合は必要ありません。

取り付け方法

B-CAS カード固定具をねじ止めしてください。



● アンテナの接続

⚠️ ご注意

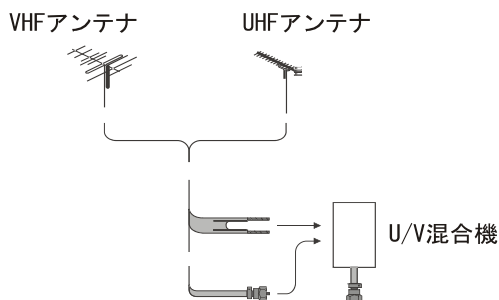
- アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブル会社からの再送信の方式によって接続のしかたが異なります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

VHF/UHF アンテナを接続する

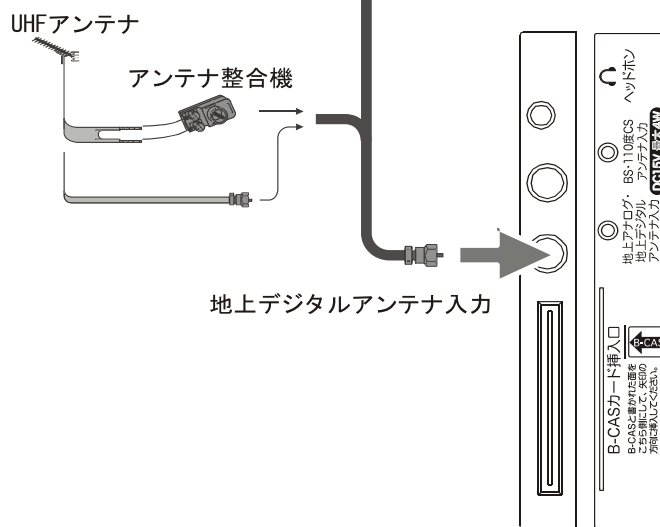
本機に付属のアンテナケーブル（または市販の同等品）を、アナログ・地上デジタルアンテナ入力端子と UHF / VHF アンテナに直接接続します。

- 地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。ご使用中の UHF アナログ放送と地上デジタル放送が同じ送信所から送られている場合は基本的に現在ご使用中のアンテナをそのままご使用いただけますが、場合によっては角度等の調整やブースターの追加が必要になることもあります。詳しくは販売店等にお問い合わせください。
- 現在 UHF 放送を受信していない場合、または UHF アナログ放送と地上デジタル放送が異なる送信所から送られている場合は、新たに UHF アンテナをご購入ください。地上デジタル放送専用のアンテナ設置をお勧めします。また、アナログ放送用のアンテナ線と地上デジタル放送用のアンテナ線は、市販の混合器を使って混合してください。
- VHF のアンテナ線と UHF のアンテナ線が別々の場合は、市販の U/V 混合器をご使用ください。
- アンテナをアンテナ入力端子に接続するときは、同梱のアンテナケーブルを使用してください。
- ご自宅のアンテナ線がフィーダー線の場合は、円筒形同軸ケーブルに変換するため、市販のアンテナ整合機をお使いください。
- 設定メニューの「アンテナ設定」(☞ 53 ページ) を使用して受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。お住まいの地域・地形によって受信レベルは異なりますが、目安としては 50 以上できれいに受信できます。受信レベルが上がらない場合は、市販のブースターをつけることをお勧めします。

(デジタル放送とアナログ放送を視聴する場合)



(デジタル放送のみを視聴する場合)



機器の準備をする

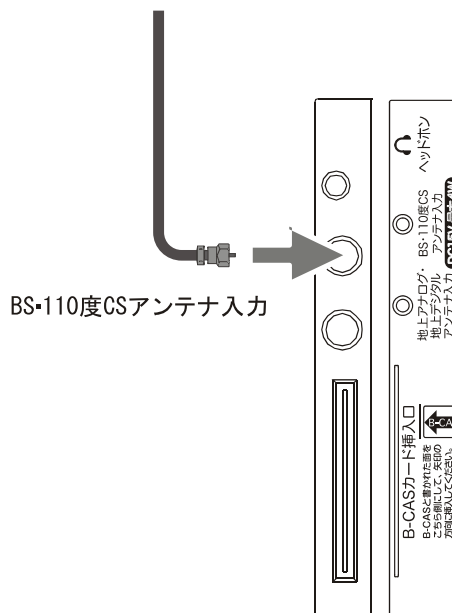
アンテナの接続 (つづき)

BS・110度CS 共用アンテナを接続する

本機に付属のアンテナケーブル（または市販の同等品）を、BS・110度CS デジタルアンテナ入力端子と BS・110度CS アンテナに直接接続します。

- アンテナは BS・110度CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 / ブースター / 分配器等は、110度CS 帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。これまでご使用になっていたBSアンテナでも、性能や方向調整が十分な場合は BSデジタル放送を受信できますが、110度CS デジタル放送の受信にはBS・110度CS 共用アンテナが必要です。
- スカパー！e2 を除くスカパー！用のアンテナでは 110度CS デジタル放送は受信できません。
- BS・110度CS 共用アンテナの取り付けについては、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110度CS デジタルアンテナ入力端子に VHF/UHF のアンテナ線を接続しないでください。故障の原因となります。
- 設定メニューの「アンテナ設定」（☞ 53 ページ）を使用して受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。50 以上あればきれいに受信できます。
- アンテナ電源の設定をオンに設定してください。（☞ 53 ページ）
- 家庭用分配器を使って複数の BS 機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプを必ずお使いください。この場合、本機か他の BS 機器か、どちらかのアンテナ電源のみを「オン」に設定してください。両方とも「オン」に設定すると故障の原因となります。また、本機の電源を待機状態・オフ状態にした時はアンテナ電源は供給されません。他の BS 機器を本機がオフまたはスタンバイの時に使う場合は、当該機器より電源を供給してください。

BSまたは110度CSアンテナより

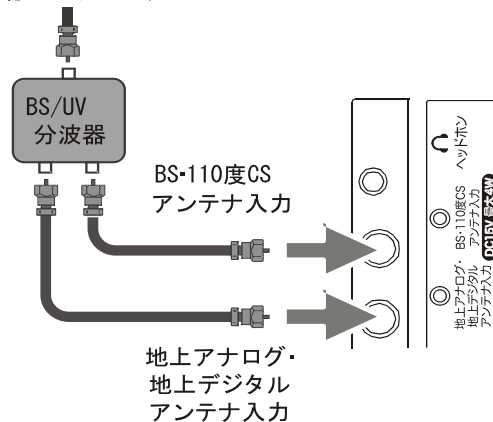


マンションなどの共聴システムで接続する

まずはお住まいのマンションなどが、地上デジタルや BS・110度CS デジタルにどのように対応しているかを、マンション管理会社などにご確認ください。BS・110度CS と VHF/UHF が混在されている場合は、市販のBS/UV 分波器を使用して接続します。分波器は 110度CS 帯域（2150MHz）まで対応している金属シールドタイプをお選びください。

- アンテナ電源の設定をオフに設定してください。（☞ 53 ページ）

共聴システムより



LAN への接続（双方向通信用）

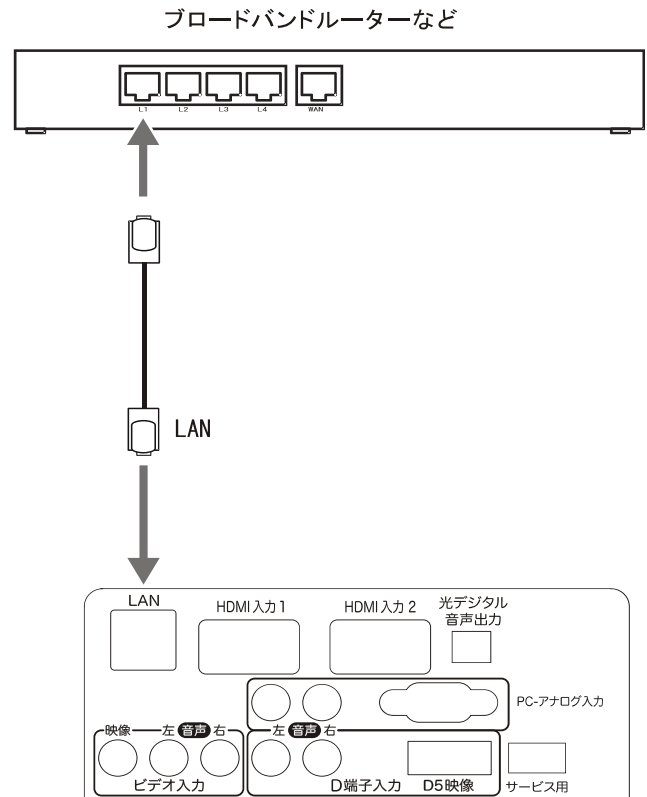
デジタル放送では、ADSL などのブロードバンド回線に接続してデータ放送の双方向サービスを利用することができます。双方向サービスを使用すると、ご家庭からテレビ局に向けてクイズ番組の回答やアンケートなどの情報を送ることができます。

市販の LAN ケーブルを使い、ブロードバンドルーターなどの LAN ポートと本機の LAN 接続端子を接続します。

- お使いの FTTH 回線終端装置、ケーブルモデム、または ADSL モデムにルーター機能がある場合は、LAN ポートの一つと本機の LAN 端子を接続してください。LAN ポートに空きがない場合は回線業者やプロバイダー指定のハブを使用して接続してください。
- 設定メニューの「ネットワーク設定」を行ってください（☞ 56 ページ）。

お知らせ

- 双方向サービスを利用しない場合、LAN への接続は必要ありません。
- 双方向サービスを利用するには、ADSL などのサービスを提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。本書では、すでにパソコンがインターネットに接続されているなどブロードバンド環境をお持ちであることを前提に説明しています。ブロードバンド環境をお持ちでなく、これから加入契約をされる場合は、サービスを提供する回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 回線業者やプロバイダーとの契約内容によっては、複数台の接続ができない場合や、接続にあたって追加料金が必要な場合があります。回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 接続に必要なブロードバンドルーターなどの機器は、回線業者やプロバイダーの指定された製品をお使いください。
- 回線業者やプロバイダーから提供される説明書もよくお読みください。不明な点は回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- USB 接続の ADSL モデムをお使いのときは、回線業者やプロバイダーにご相談ください。



● 他の機器との接続

本機では、他の機器を接続して映像や音を楽しんだり、本機で受信した番組を他の機器に録画することなどができます。

⚠️ ご注意

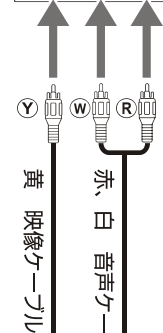
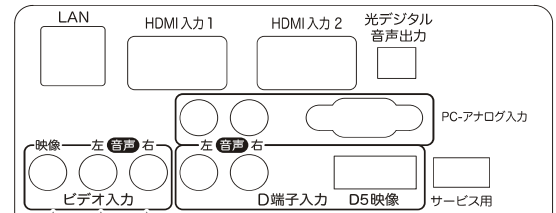
- 接続の前に、本機や接続する機器の電源をお切りください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、ケーブルでなくプラグを持ってしっかりと行ってください。
- ノイズが出る場合は、機器間の距離が十分にとれるように配置してください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

DVD プレーヤーなどを接続する

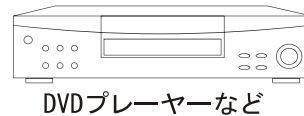
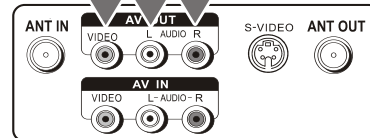
ビデオ入力端子に接続する

市販の AV ケーブルで、DVD プレーヤーなどの AV 出力端子と本機のビデオ入力端子 / ビデオ入力（音声）端子を接続します。黄色のプラグをビデオ入力端子に、赤と白のプラグをビデオ入力（音声）端子に、プラグと端子の色をそれぞれ合わせるようにして接続してください。

(背面)



- Ⓨ 黄色：映像
- Ⓦ 白色：左音声
- Ⓡ 赤色：右音声



D端子入力に接続する

市販のD端子ケーブルを使い、DVDプレーヤーなどのD端子と本機のD端子入力（D5映像）端子（背面）を接続します。音声は市販のAVケーブルで、それぞれの音声入力端子を接続します。

お知らせ

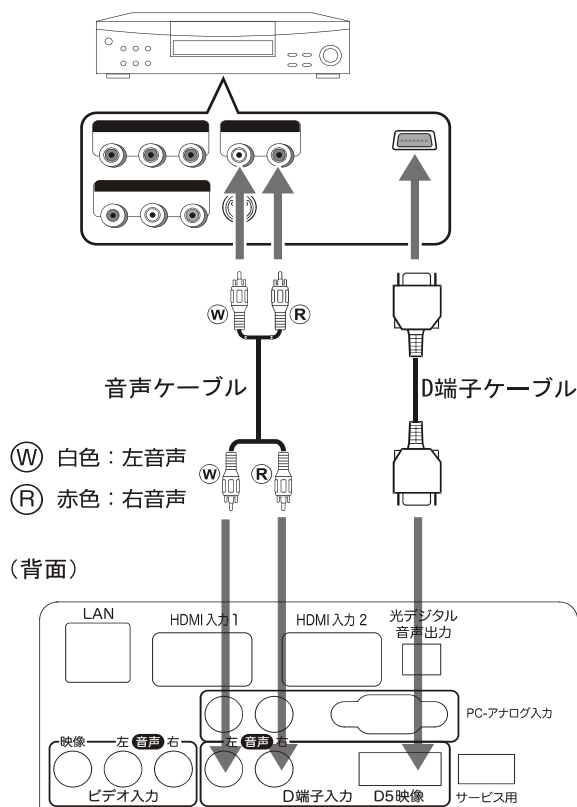
- 本機のD端子はD5規格です。これはD端子規格の中でD1、D2、D3、D4およびD5入力信号を自動的に判別して表示する機能を持った端子です。接続する機器からどのような信号が出力されているかは接続する機器の仕様書をご覧ください。

D端子の種類と対応信号フォーマット

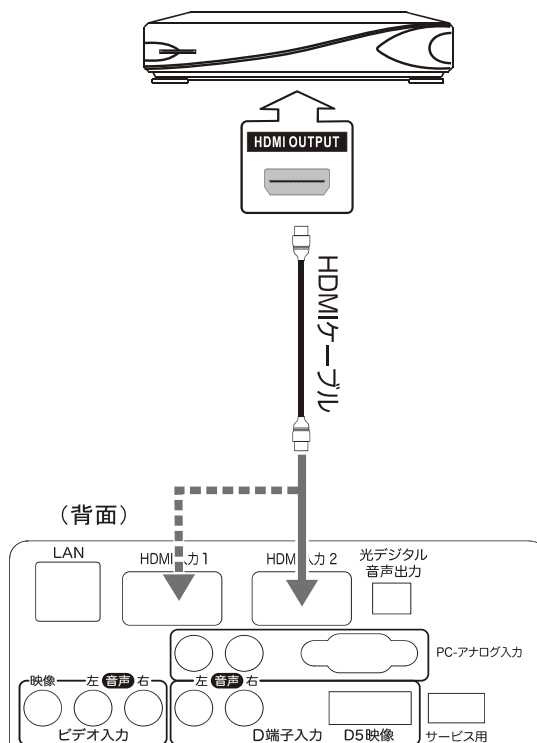
	525i (480i)	525p (480p)	1125i (1080i)	750p (720p)	1125p (1080p)
D1	○	×	×	×	×
D2	○	○	×	×	×
D3	○	○	○	×	×
D4	○	○	○	○	×
D5	○	○	○	○	○

- カッコ内の数字は有効走査線数と呼ばれるものです。お使いの機器によってはこちらの数字を表示している場合があります。
- 接続機器によっては、出力をD端子に設定しなければ信号を出力しないものがあります。映像が表示されない場合は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください、設定してください。

D端子出力のある機器



HDMI出力のある機器



HDMI入力端子に接続する

市販のHDMIケーブルを使い、HDDレコーダー、デジタルチューナーなどのHDMI出力と本機のHDMI入力1端子またはHDMI入力2端子のいずれかとをつないでください。HDMIケーブルはデジタル信号で映像と音声を1本で接続します。

お知らせ

- パソコンなどのDVI出力のある機器とも、DVI-HDMI変換ケーブルを使うことで接続することができます。この場合は接続する機器の音声出力を、本機のD端子用の音声入力端子に、市販のミニステレオ音声ケーブルを使用して接続してください。(DVI-HDMI変換ケーブルを使用しての接続は保証しておりません。)
- 映像・音声が表示・出力されない場合は、接続する機器の説明書などで出力機器の設定をご確認ください。

他の機器との接続 (つづき)

パソコンを接続する

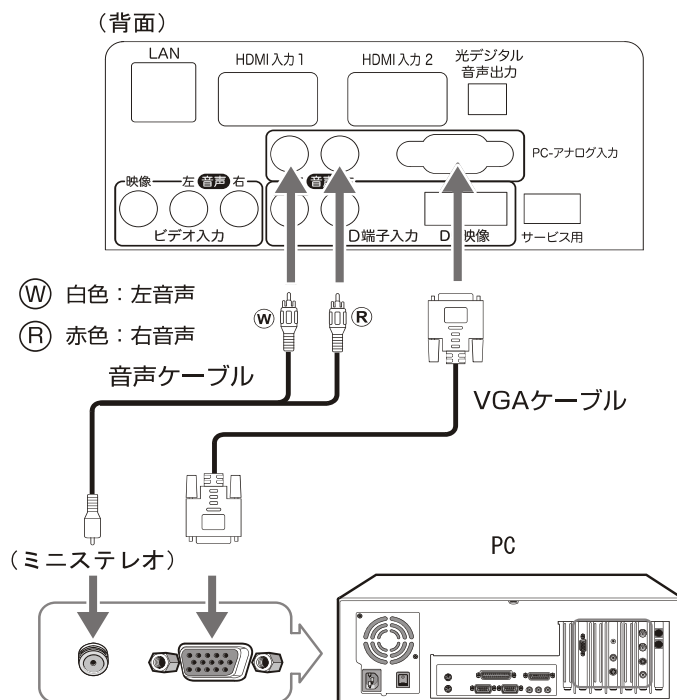
VGA ケーブルでパソコンの VGA 出力と、本機の PC- アナログ入力端子を接続します。音声は、音声ケーブル (ミニステレオ - 赤、白、音声ケーブル変換ケーブル) でパソコンの音声出力と本機の PC- アナログ入力 / 音声端子を接続します。対応フォーマットは以下の通りです。

- 640 × 480 @ 60/72/75Hz
- 720 × 400 @ 70Hz
- 800 × 600 @ 56/60/72/75Hz
- 1024 × 768 @ 60/70/75Hz
- 1360 × 768 @ 60Hz (ドットバイドット表示)

パソコン側で外部出力の設定をしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

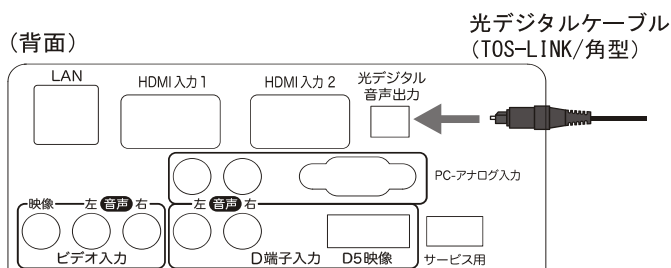
- 全てのパソコンでの動作検証は行っておりません。(Macintosh など、Windows 2000/XP/Vista 以外の動作は検証しておりません。) また、パソコンのビデオカードなどによっては、上記のフォーマットでも表示できない場合があります。



AV アンプなどを接続する

市販の光デジタルケーブルで AV アンプなどの光デジタル音声入力と、本機の光デジタル音声出力を接続します。光デジタル接続を使用することにより、AV アンプなどから音声を出し、5.1ch の臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。本機では接続する機器に応じてデジタル音声出力の設定を以下の二つから選ぶことができます。(☞ 47 ページ)

- 自動** : デジタル放送 (地上、BS、CS) 受信時には AAC で、HDMI 入力端子からの音声は PCM で出力します。AAC 対応の AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。
- PCM** : AAC に対応していない AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。音声は PCM (2ch) の音声に変換されて出力されます。



お知らせ

- この端子からはデジタル放送 (地上、BS、CS) 受信時と HDMI 入力端子からの音声出力されます。

ヘッドホンを接続する

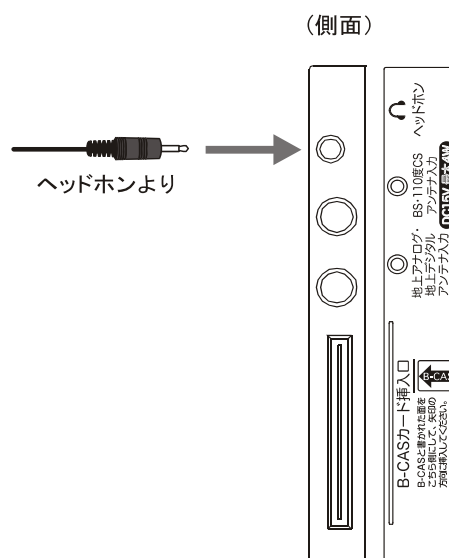
市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホンジャックに接続します。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーから音が出なくなります。

⚠️ ご注意

- ヘッドホンを使用される場合は、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがする場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時等に避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。



● 電源コードの接続

接続する

全ての接続が終わったら、最後に電源コードを接続してください。

① 本体下側の [主電源] がオフになっていることを確認する

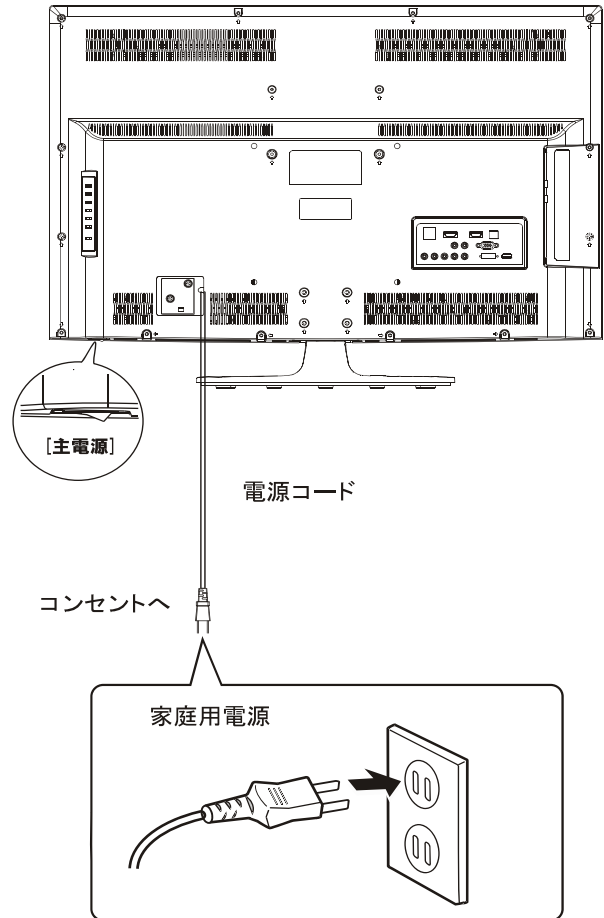
② コンセントに電源コードのプラグを挿入する

③ [主電源] をオンにする

本機前面の電源ランプが赤く点灯します。

お知らせ

● 通常は電源プラグをコンセントに差したままで [主電源] をオンにしておいてください。オフにすると電子番組表が更新されません (38 ページ)。お手入れの際や長時間ご使用にならない時は、[主電源] をオフにしてから、電源プラグを抜いてください。



電源に関するご注意

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 電源プラグは、抜き差しがしやすい位置の、壁のコンセントに直接差すようにしてください。
- 使用中に電源プラグを抜いたり、電源を突然遮断しないようにしてください。設定等が無効になってしまうことがあります。まずリモコンの [電源] を押して電源を切り、そのおよそ5秒後に [主電源] をオフにし、その後で電源プラグを抜いてください。



● テレビを見るための準備

本機を初めてご利用される場合や、お客様のお住まいの地域が変わった場合は、初期設定を行う必要があります。設定を行わないと、テレビ放送を正常に受信できないため、視聴できるはずの番組が視聴できなくなります。

地上デジタル・BS・110度CS自動設定

お住まいの地域の地上デジタル放送またはBS・110度CS放送の受信チャンネル等を設定します。

- ① [電源] を押す
- ② 希望する放送種別の選択ボタン（[地上D] / [BS] / [CS]）を押す
- ③ [設定メニュー] を押す
- ④ [◀] / [▶] を押して初期設定を選ぶ
- ⑤ [▲] / [▼] / [◀] / [▶] を押して地域・郵便番号の設定を選び、[決定] を押す
- ⑥ お住まいの地域を選んで [決定] を押し、続けて県名を選んで [決定] を押す
- ⑦ お住まいの地域の郵便番号を数字ボタンを押して入力する
[10] は「0（ゼロ）」として使用します。
- ⑧ [▼] を押して設定終了を選び、[決定] を押す
- ⑨ [設定メニュー] を押す
- ⑩ [▲] / [▼] / [◀] / [▶] を押して地上デジタル・BS・110度CS自動設定を選び、[決定] を押す
- ⑪ [▲] / [▼] を押して初期スキャンを選び、[決定] を押す

終了後、「オートスキャンが終了しました。チャンネル一覧を表示しますか？」と表示されます。はいまたはいいえを選択して [決定] を押してください。はいを選択すると「リモコンの詳細決定」のメニュー（55ページ）に移行します。

お知らせ

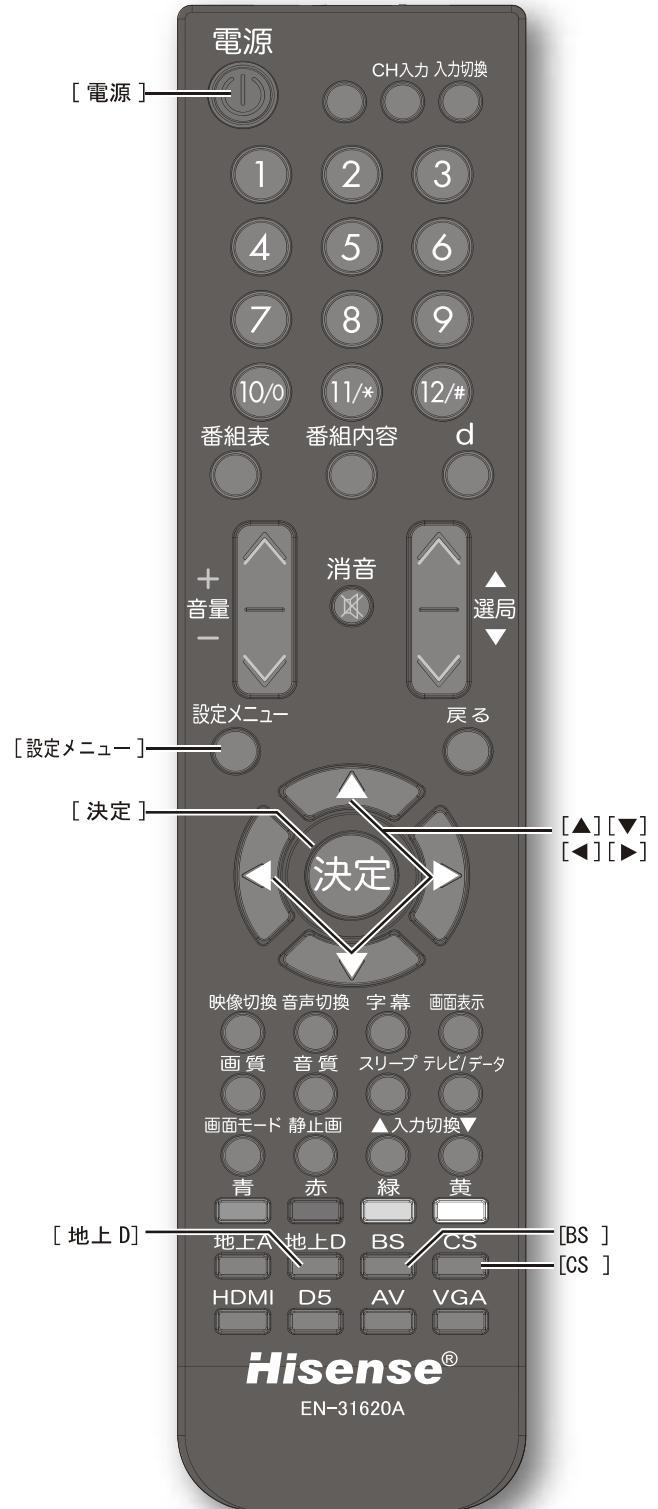
- 有料サービス（WOWOW等）をご利用になる場合は放送会社と別途契約する必要があります。
- 地デジ難視対策について
BS17チャンネルを使用した、地デジ難視対策衛星放送は、視聴制御（スクランブル）をかけて対象地区を限定した放送です（実施期間は2010年3月から2015年3月まで）。詳しくは、地デジ難視対策衛星放送受付センターにお問い合わせください。

電話 0570-08-2200

ホームページ URL

<http://www.dpa.or.jp/safetynet/>

（2011年1月現在）



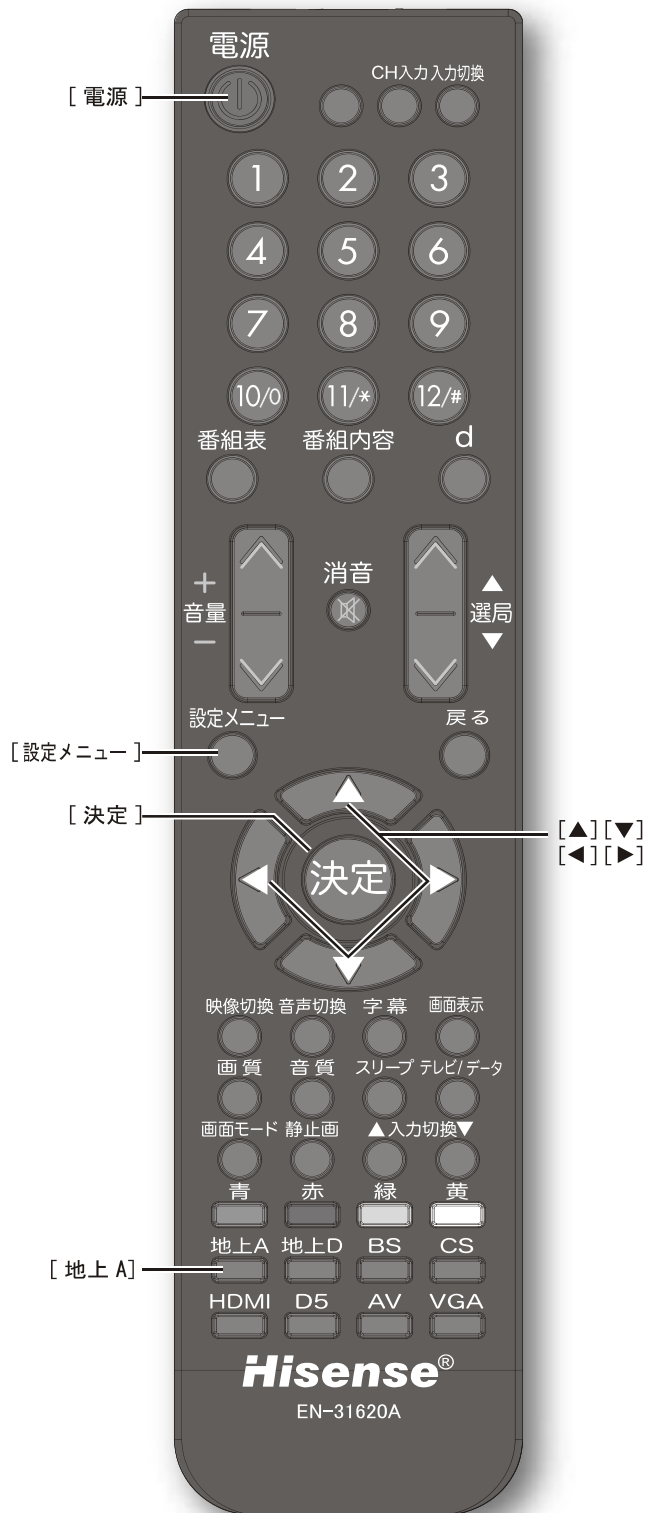
テレビを見るための準備 (つづき)

地上アナログ自動設定

お住まいの地域のアナログ放送の受信チャンネル等を設定します。

- ① [電源] を押す
- ② [地上 A] を押す
- ③ [設定メニュー] を押す
- ④ [◀]/[▶] を押して初期設定を選ぶ
- ⑤ [▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して地上アナログ自動設定を選び、[決定] を押す
- ⑥ [▲]/[▼] を押して初期スキャンを選び、[決定] を押す

アナログ放送帯域をスキャンし、放送されているチャンネルをメモリーに記憶します。終了後、「オートスキャンが終了しました。チャンネル一覧を表示しますか?」と表示されます。はいまたはいいえを選択して [決定] を押してください。はいを選択すると「リモコンの詳細決定」のメニュー (☞ 55 ページ) に移行します。



テレビを見る

この章では、テレビを見るための基本的な使いかたについて説明しています。

	ページ
共通の操作	36
チャンネルを選ぶ	37
デジタル放送を楽しむ	38
映像と音の操作	40

● 共通の操作

電源を入れる / 切る

電源を入れる

① [電源] を押す

本体の電源ランプが青く点灯します。

電源を切る

● [電源] を押す

本体の電源ランプが赤く点灯します。

⚠️ ご注意

● 本機は [電源] を押して電源を切った（電源ランプ：赤）状態のときは、番組表更新等のために常に微弱な電流が流れています。旅行などで本機を長時間使用されないときは、本体の [主電源] をオフにするか、コンセントを抜いて（電源ランプ：消灯）ください。

音量を調節する

● [音量+] / [音量-] を押す

一時的に音を消す

● [消音] を押す

もとに戻すには

- [消音] を再度押す
- [音量+] / [音量-] を押す

スリープタイマー

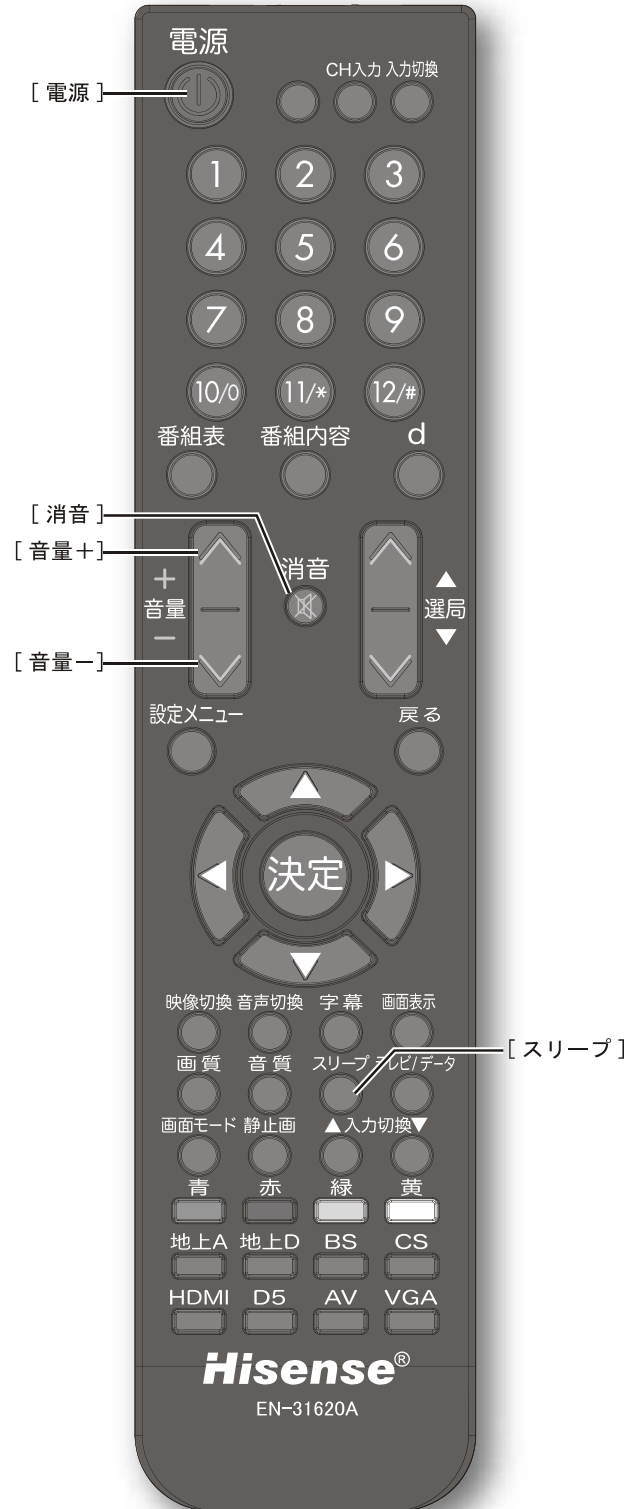
本機の電源を切るまでの時間を設定します。

● [スリープ] を押す

押すごとに、以下の範囲で切り換わります。

◇ 設定範囲

0 (オフ) / 30分 / 60分 / 90分 / 120分



● チャンネルを選ぶ

お知らせ

- チャンネルを選んでから映像が切り換わるまでに時間がかかる場合がありますが、映像信号の変換等に時間がかかるため、故障ではありません。
- 放送の種類によっては他の機能が追加されている場合があります。この場合、各ボタンの機能はテレビ画面に表示されます。
- 地上デジタル放送では、お住まいの地域以外も受信可能な場合に、同じチャンネル番号が重複することがあります。この場合はチャンネル番号の次に付く枝番(011-2の「-2」など)で区別して選びます。枝番つきのチャンネルの放送局番号を入力すると、枝番を入れる画面が表示されますので、数字ボタンを使って枝番まで入力します。

入力を切り換える

- **[地上 A]** / **[地上 D]** / **[BS]** / **[CS]** を押して放送の種類を選ぶ

お知らせ

- **[入力切換]** または **[▲入力切換]** / **[入力切換▼]** を押して選ぶこともできます。(☞ 60 ページ)

チャンネル番号で選局する

(ワンタッチボタン選局)

- お好みのチャンネル番号の数字ボタンを押す

放送局番号で選局する

(ケーブルテレビまたはデジタル放送のみ)

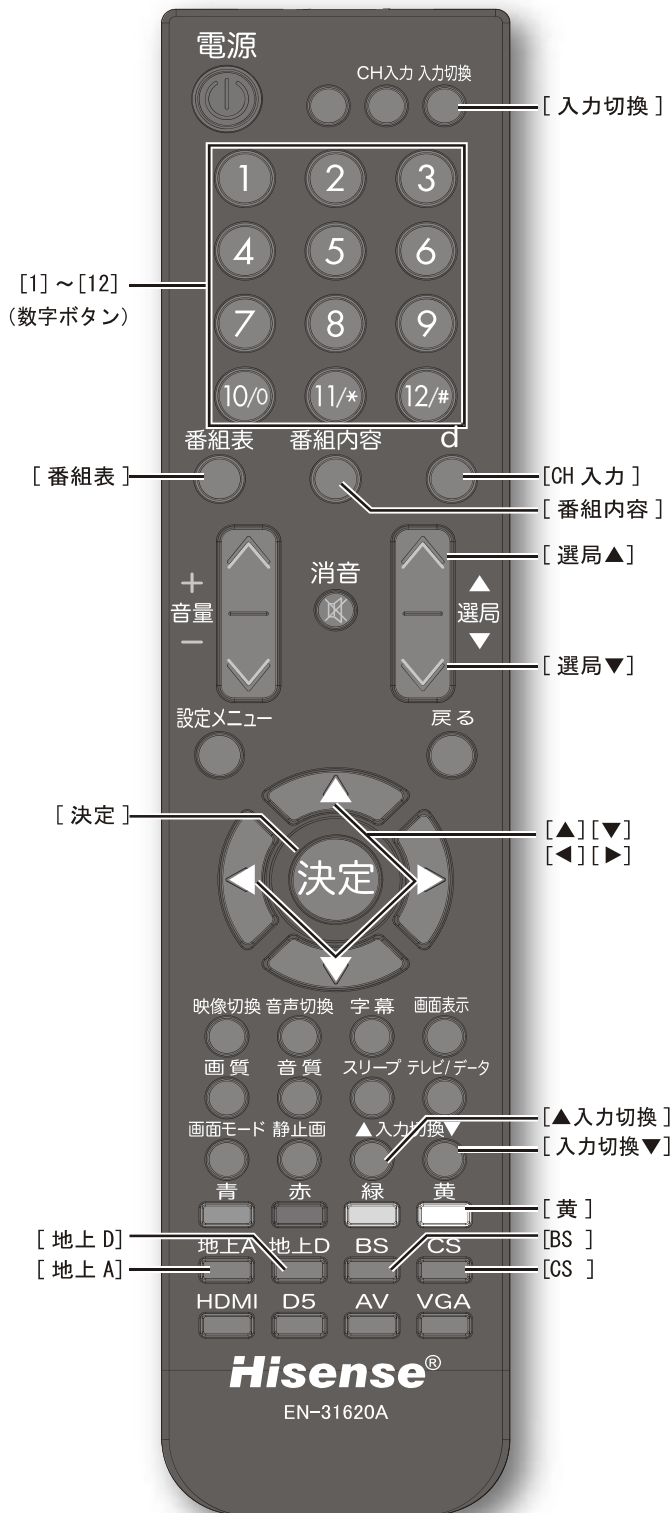
- ① **[CH 入力]** を押す
- ② お好みの放送局の放送局番号を **[1]** から **[10]** までの数字ボタンを押して入力する
[10] は「0 (ゼロ)」として使用します。

選局ボタンで選局する

- **[選局▲]** / **[選局▼]** を押して選局する

番組表から選局する

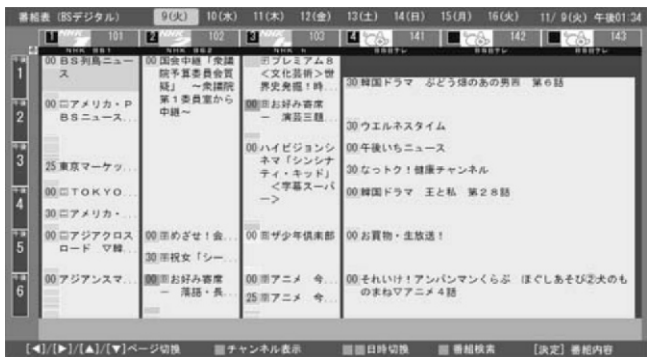
- ① **[番組表]** を押す
- ② **[▲]** / **[▼]** / **[◀]** / **[▶]** を押して現在放送中の見たい番組を選び、**[決定]** または **[番組内容]** を押す
- ③ **[決定]** を押す



デジタル放送を楽しむ

電子番組表を表示する

電子番組表（EPG）を表示します。



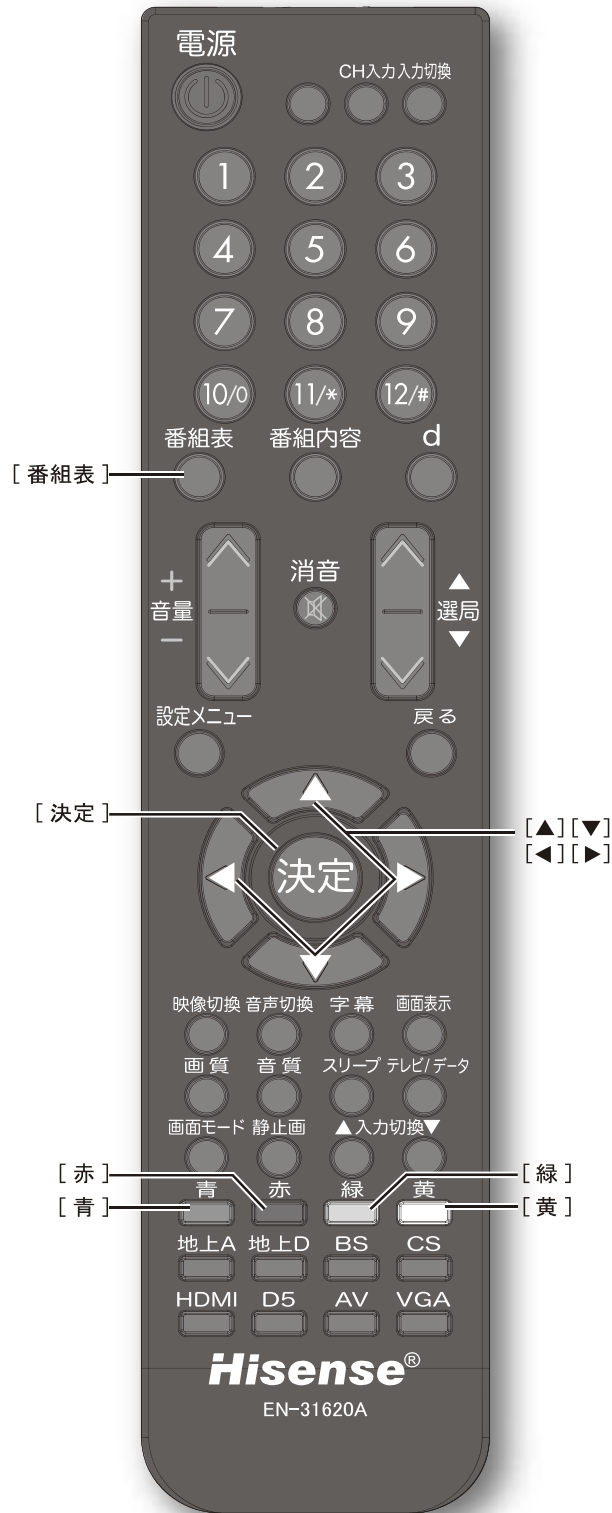
テレビを見る

● [番組表] を押す

- [▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して番組を選択し、[決定] を押すと番組内容（⇒ 39 ページ）を表示します。
- [青] を押すと1画面で6チャンネル表示/3チャンネル表示を切り換えます。
- [緑] を押すと翌日の番組を表示します。続けて押していくと1週間先の番組まで表示させることができます。
- [赤] を押すと前日の番組を表示します。
- [黄] を押すと番組検索メニューが開きます。以下の手順で検索してください。
 - ① [▲]/[▼] を押して **放送:** を選び、[決定] を押す
 - ② [▲]/[▼] を押して放送の種類を選び、[決定] を押す
 - ③ [▲]/[▼] を押して **日付:** を選び、[決定] を押す
 - ④ [▲]/[▼] を押して日付を選び、[決定] を押す
日付は複数選ぶことができます。選んだ日付の横にチェックマーク (✓) が付きます。
 - ⑤ [▲]/[▼] を押して設定終了を選び、[決定] を押す
 - ⑥ [▲]/[▼] を押して **ジャンル大分類:** を選び、[決定] を押す
 - ⑦ [▲]/[▼] を押してジャンルを選び、[決定] を押す
 - ⑧ [▲]/[▼] を押して **ジャンル小分類:** を選び、[決定] を押す
 - ⑨ [▲]/[▼] を押してジャンルを選び、[決定] を押す
 - ⑩ [▶] を押して **検索開始** を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 放送時間が短い番組は番組表中に表示されませんが、カーソルを当該時刻に合わせると表示されます。
- 有料放送（WOWOW など）や、地デジ難視対策衛星放送（⇒ 33 ページ）の番組表も表示されますが、契約をされていないとご覧にはなりません。



番組内容を表示する

選択中の番組の内容（チャンネル番号・放送局名・放送時間・ジャンル種別・音声情報・映像情報など）を表示します。

番組内容を表示するには、2種類の方法があります。

- 番組視聴中に [番組内容] を押す
- 番組表で番組を選び、[決定] または [番組内容] を押す (▶ 38 ページ)
 - ・ もう一度 [番組内容] を押すか、[戻る] を押すともとの画面に戻ります。
 - ・ 番組内容表示中に現在放送中の番組を選んで [決定] を押すとその番組を選局できます。
 - ・ 番組内容表示中に、これから放送される番組を選んで、[黄] を押すと視聴予約ができます。([黄] をもう一度押すと予約が解除されます。)

お知らせ

- 視聴予約をすると、番組表表示中に予約された番組名の冒頭に赤い丸が、左側時刻表示部分に赤いバーが表示されます。
- 予約された時刻に電源が入っていない場合、視聴予約は無効になります。

データ放送を受信する

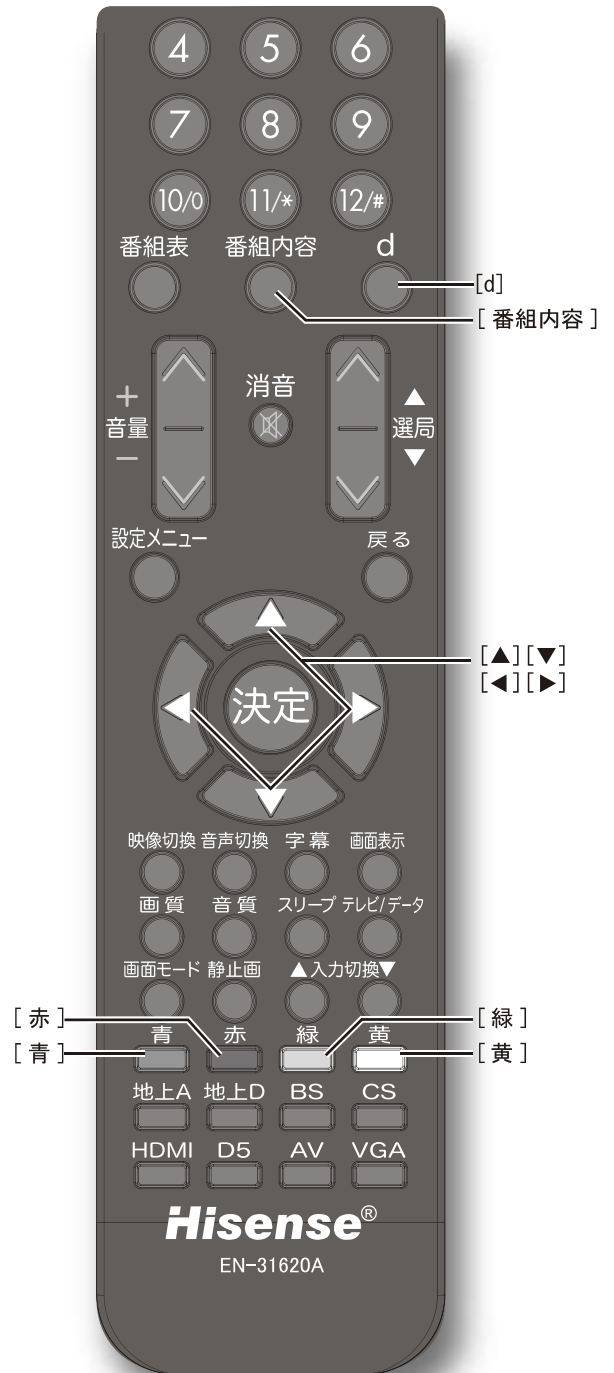
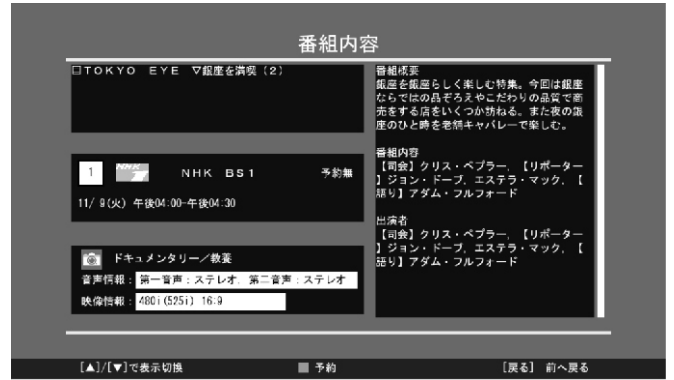
- [d] を押す
 - ・ もう一度 [d] を押すか、[戻る] を押すともとの画面に戻ります。

お知らせ

- データ放送を行っているチャンネルでのみ有効です。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して項目を選び、[決定] を押して選択を確定することができます。
- データ放送画面からさらに別の画面へ移行することができます。画面上に [青] [赤] [緑] [黄] それぞれでどの情報（天気予報、ニュースなど）へ移行するのかが表示されます。

双方向通信を行う

LAN 接続をしていて、双方向通信が行われているチャンネルを受信すると、双方向通信の画面が表示されます。[▲]/[▼]/[◀]/[▶] を押して画面を切り換えたり、番組によっては [青] [赤] [緑] [黄] を押すことで、放送局へデータ（人気投票、クイズの回答など）を送信することができます。画面に表示される指示に従ってください。



映像と音の操作

チャンネル情報を表示する

チャンネル情報を表示させます。

- [画面表示] を押す

もう一度 [画面表示] を押すと、表示が消えます。

画面モードを切り換える

画面の縦横比を切り換えます

- [画面モード] を押す

押すごとに、入力の種類ごとに設定されている画面モードの選択肢の中で切り換わります。

お知らせ

- 入力信号を確認するには [番組内容] を押してください。

画面を静止させる

視聴中の画面の静止 / 再始動をします。

- [静止画] を押す

もう一度 [静止画] を押すと、もとに戻ります。

お知らせ

- VGA モードでは静止画機能は動きません。

字幕を切り換える

本機に出力する字幕の言語を切り換えます。

- [字幕] を押す

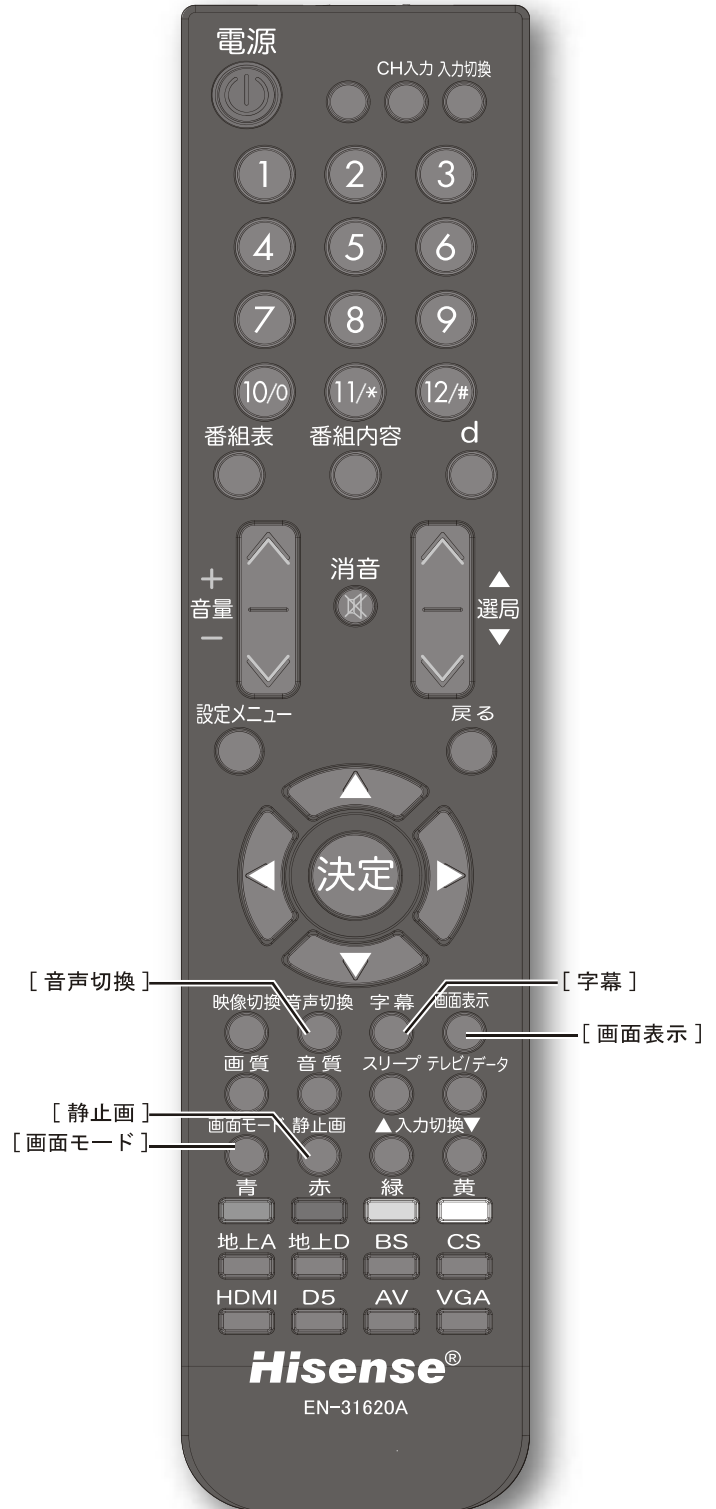
字幕データ付きの放送受信時に、オフ / 字幕第一言語 / 字幕第二言語の中で切り換わります。

音声を切り換える

番組ごとに設定された音声が複数あるときに、これを切り換えます。

- [音声切換] を押す

押すごとに、番組ごとに設定されている音声の選択肢の中で切り換わります。(☞ 47 ページ)



設定メニューを使う

この章では設定メニューを使っての設定・操作方法についてご説明いたします。

	ページ
設定メニューについて	42
映像設定	43
音声設定	46
機器設定	48
初期設定	53
画面調整	58

● 設定メニューについて

本機をご使用いただく上での基本的な設定は、設定メニューを使って設定できます。



設定メニューを使う

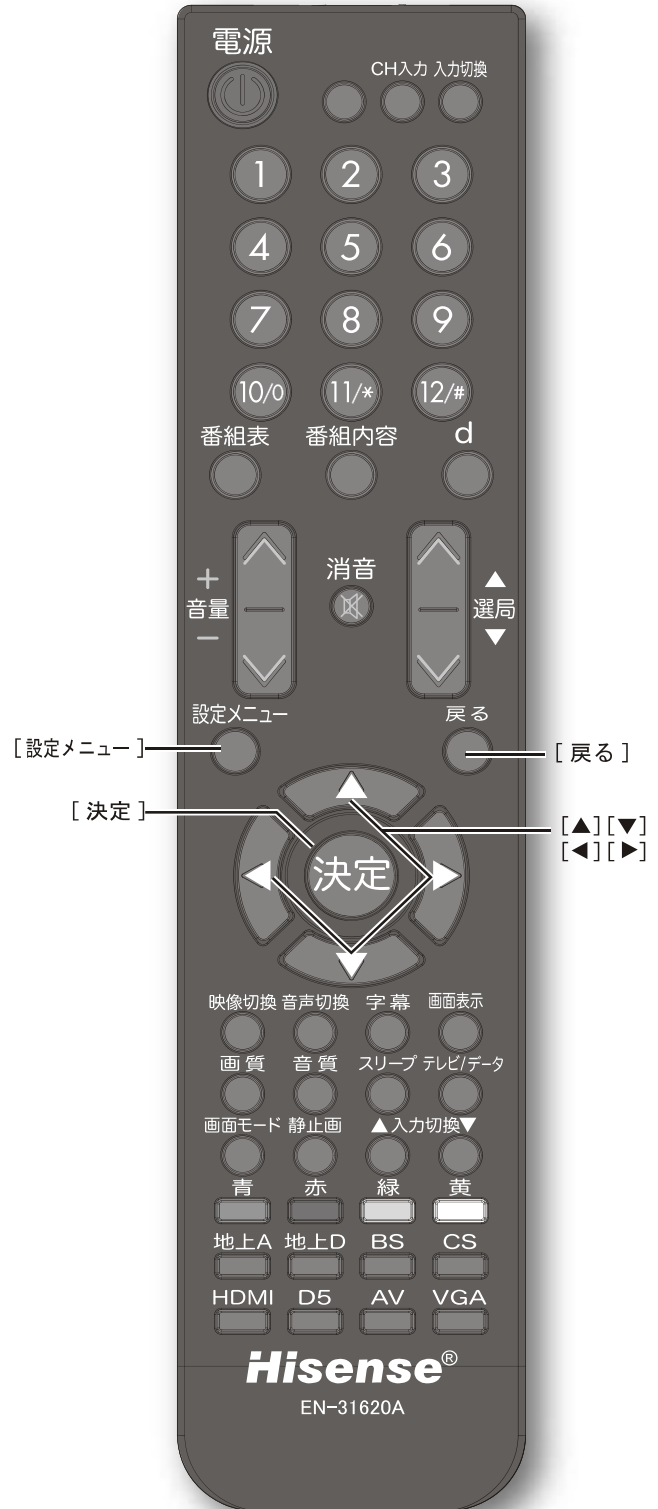
基本的な操作

設定メニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組み合わせで行います。

- ① **[設定メニュー]** を押す
- ② **[▲]/[▼]/[◀]/[▶]** を押して項目を選び、**[決定]** を押す
- ③ **[▲]/[▼]** を押して値、項目を選択し、**[決定]** を押す
- ④ **[戻る]** または **[設定メニュー]** を押して設定を確定し、一つ前の画面に戻る

お知らせ

- 現在選択されている入力で設定不要の項目は薄く表示されます。



映像設定

本機の画像を設定します。
「基本的な操作」(☞ 42 ページ)



コントラスト

画面のコントラストを調整します。

- ◇設定範囲
0 ~ 100

明るさ

画面の明るさを調整します。

- ◇設定範囲
0 ~ 100

色の濃さ

画面の色の濃さを調整します。

- ◇設定範囲
0 ~ 100

色合い

画面の色合いを調整します。

- ◇設定範囲
- 50 ~ 50

シャープネス

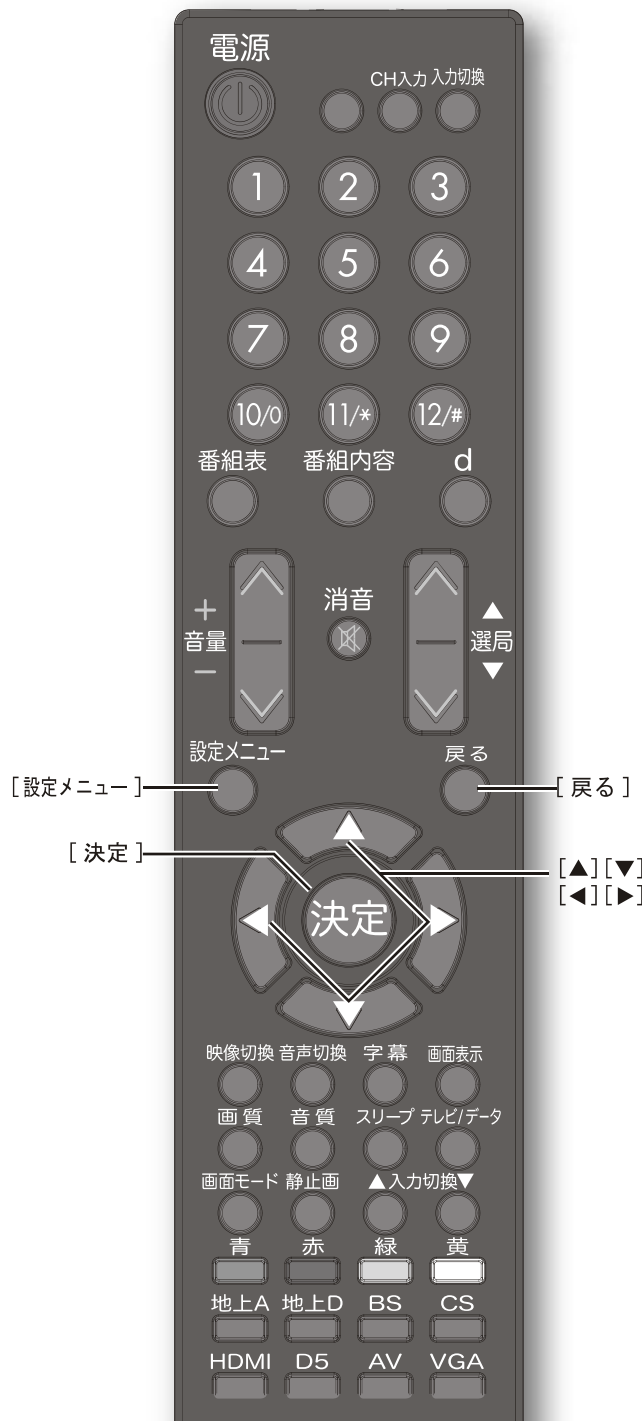
画面の鮮明さを調整します。

- ◇設定範囲
0 ~ 100

バックライト

バックライト (液晶を背面から照らす照明) の明るさを調整します。

- ◇設定範囲
0 ~ 10



設定メニュー中の基本操作

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| [設定メニュー] | [決定] |
| 設定メニューを表示 | 選択の決定 |
| [▲]/[▼]/[◀]/[▶] | [戻る] |
| 項目の選択、調整 | 選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る |

映像設定 (つづき)

画質モード

本機の画質を設定します。

◇選択項目

- 標準** : 通常の画質モードです。
- ダイナミック** : コントラスト・明るさ・色の濃さを通常よりやや高めに設定します。鮮明な印象の画質モードです。
- 映画** : コントラスト・明るさをやや低めに設定します。映画放送に適した画質モードです。
- ユーザー設定** : お好みに合わせて設定します。上述のコントラスト・明るさ・色の濃さ・色合い・シャープネス・バックライトのいずれかを調整すると自動的にこのモードになります。

画面モード

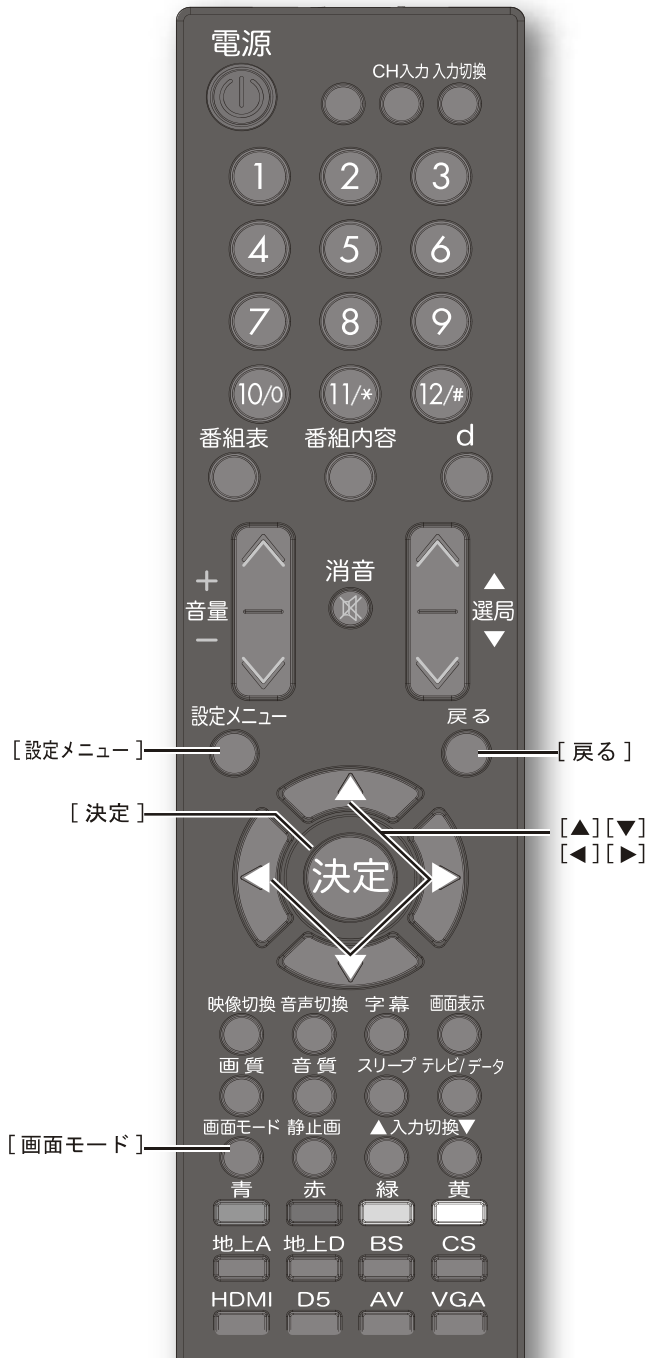
画格を設定します。

◇選択項目

- フル** : 画面いっぱいに映像を出力します。入力信号によっては映像が上下に引き伸ばされます。
- 標準** : 入力信号をそのまま出力します。
- ズーム** : 映像の縦横比を維持したまま中心を基準に画面を拡大します。画面の外枠が一部欠けます。
- 映画** : ズームの画面全体を上を動かし、画面下部に出る字幕が見えるようにします。
- パノラマ** : 画面いっぱいに映像を出力します。入力信号によっては映像が左右に引き伸ばされます。

お知らせ

- [画面モード] を押して切り換えることもできます。
- 入力の種類によって選択できる画面モードは異なります。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

画質詳細設定

画質を詳細に設定します。
メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



色温度

画面の色温度を設定します。

◇選択項目

- 冷色**：赤系の色を抑えます。
- 標準**：標準の色の濃さに設定します。
- 暖色**：赤系の色を強調します。

ノイズリダクション

画面のノイズリダクション（雑音削除）の設定をします。

- オフ**：雑音削除しません。
- 弱**：削除する割合を低くします。
- 中**：削除する割合を、高と低の中間にします。
- 強**：削除する割合を高くします。

ビデオエクスパンダー

明るさの中間領域のところの信号を伸ばします。例えば、かすみがかかったような映像が続く場合にコントラストをつけて、くっきりした映像にします。

◇選択項目

- オフ**：ビデオエクスパンダーを無効にします。
- オン**：ビデオエクスパンダーを有効にします。

ファインシネマ

映画の放映にふさわしい画面にします。アナログテレビ・映像入力端子・S-ビデオ入力端子からのシグナルにのみ有効です。

◇選択項目

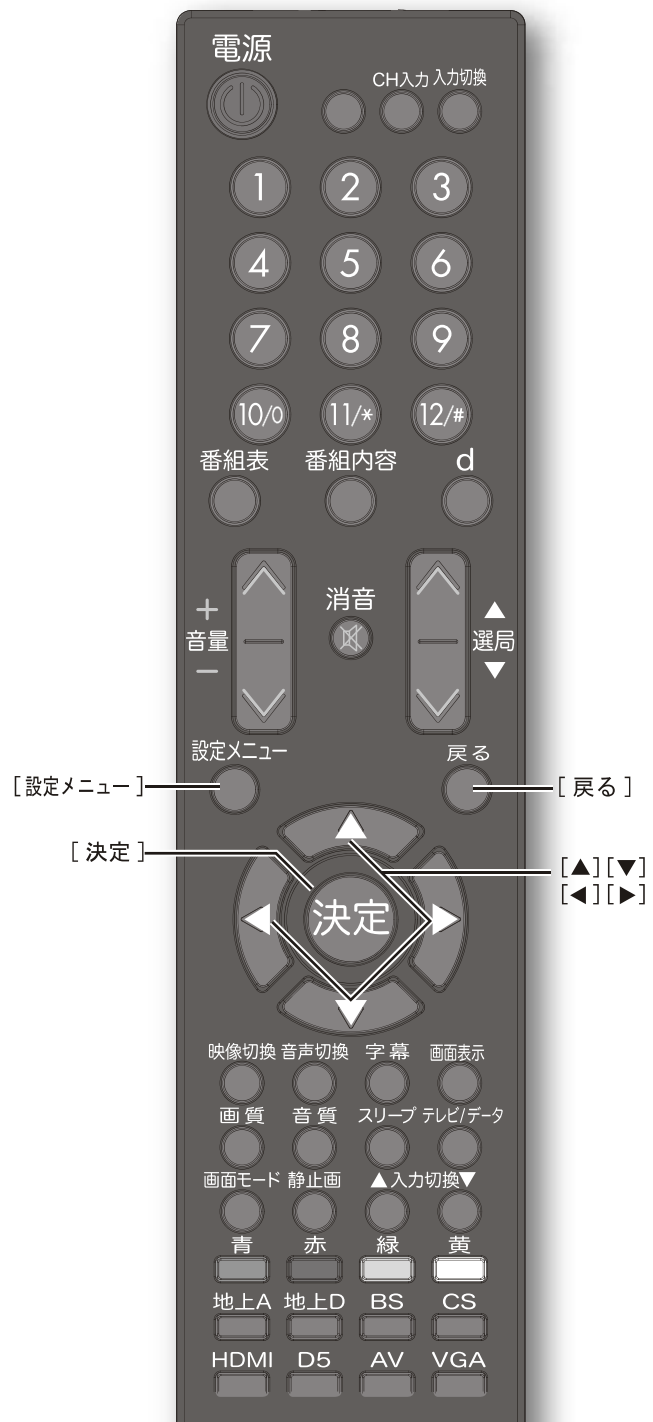
- オフ**：ファインシネマを無効にします。
- オン**：ファインシネマを有効にします。

オートコントラスト

薄暗い画面のときに、バックライトを暗くして黒を沈め、コントラストがついたように見える画面にします。例えば海べの夕日の映像の場合、海の部分が若干暗くなり、夕日がきれいに見えるようにします。

◇選択項目

- オフ**：オートコントラストを無効にします。
- オン**：オートコントラストを有効にします。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

● 音声設定

本機の音声出力を設定します。
「基本的な操作」(P. 42 ページ)

設定メニューを使う



低音

低音の調整をします。

- ◇設定範囲
0 ~ 100

高音

高音の調整をします。

- ◇設定範囲
0 ~ 100

バランス

左右のスピーカーの出力バランスを調整します。

- ◇設定範囲
- 50 ~ 50

サラウンド

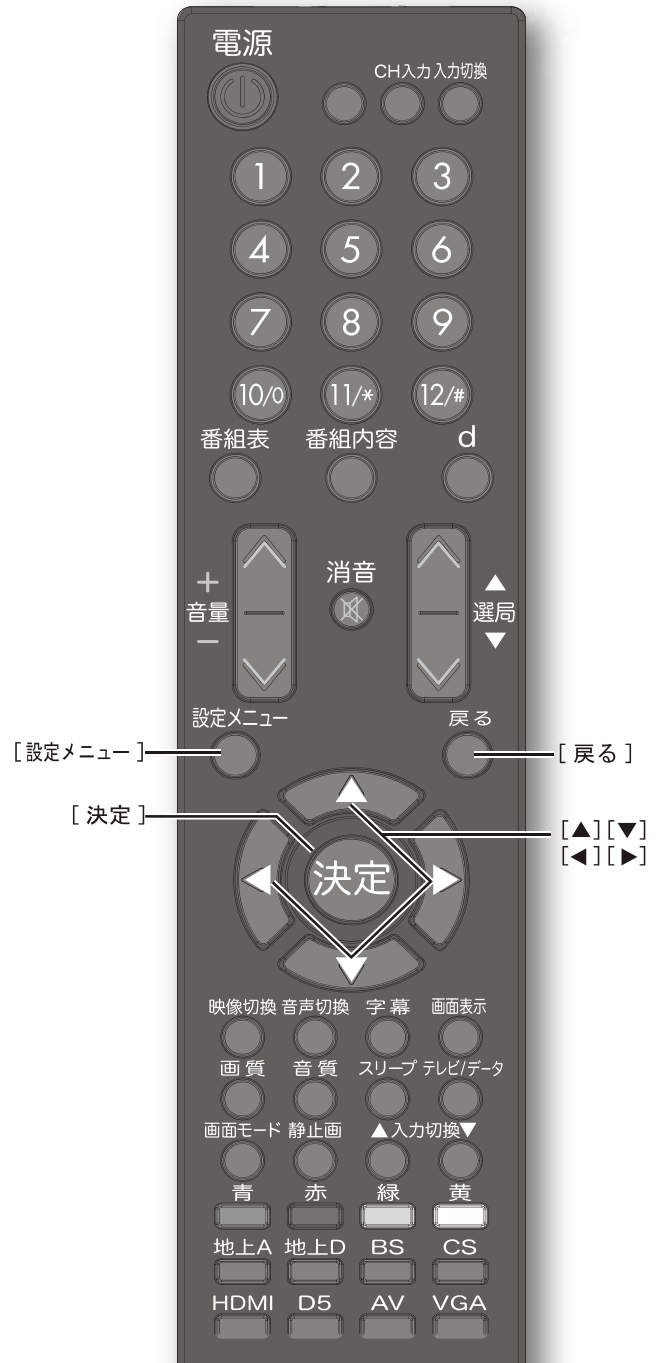
サラウンドシステムを使用しているような音響効果の設定をします。

- ◇選択項目
オフ : 音響効果を無効にします。
オン : 音響効果を有効にします。

自動音量調整

異なった入力間の音量差を自動的に調整するかしないかを選択します。

- ◇選択項目
オン : 自動的に調整します。
オフ : 自動的に調整しません。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

光デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子から AV アンプなどを接続するときの、音声出力形式を設定します。

◇選択項目

- PCM** : AAC に対応していない AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。音声は PCM (2ch) の音声に変換されて出力されます。
- 自動** : デジタル放送 (地上、BS、CS) 受信時には AAC で、HDMI 入力端子からの音声は PCM で出力します。AAC 対応の AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。

音声切換

番組ごとに設定された音声が複数あるときに、これを切り換えます。

ステレオ放送時 (アナログ)

◇選択項目

- ステレオ** : ステレオ音声を出力します。
- モノラル** : モノラル音声を出力します。

2カ国語放送時 (アナログ)

◇選択項目

- 主音声** : 主音声を出力します。
- 副音声** : 副音声を出力します。
- 主+副音声** : 主音声と副音声を同時に出力します。

2ヶ国語モノラル放送時 (デジタル)

◇選択項目

- 主音声** : 主音声を出力します。
- 副音声** : 副音声を出力します。
- 主+副音声** : 主音声と副音声を同時に出力します。

2ヶ国語ステレオ放送時 (デジタル)

◇選択項目

- 音声1ステレオ** : 音声1を出力します。
- 音声2ステレオ** : 音声2を出力します。

お知らせ

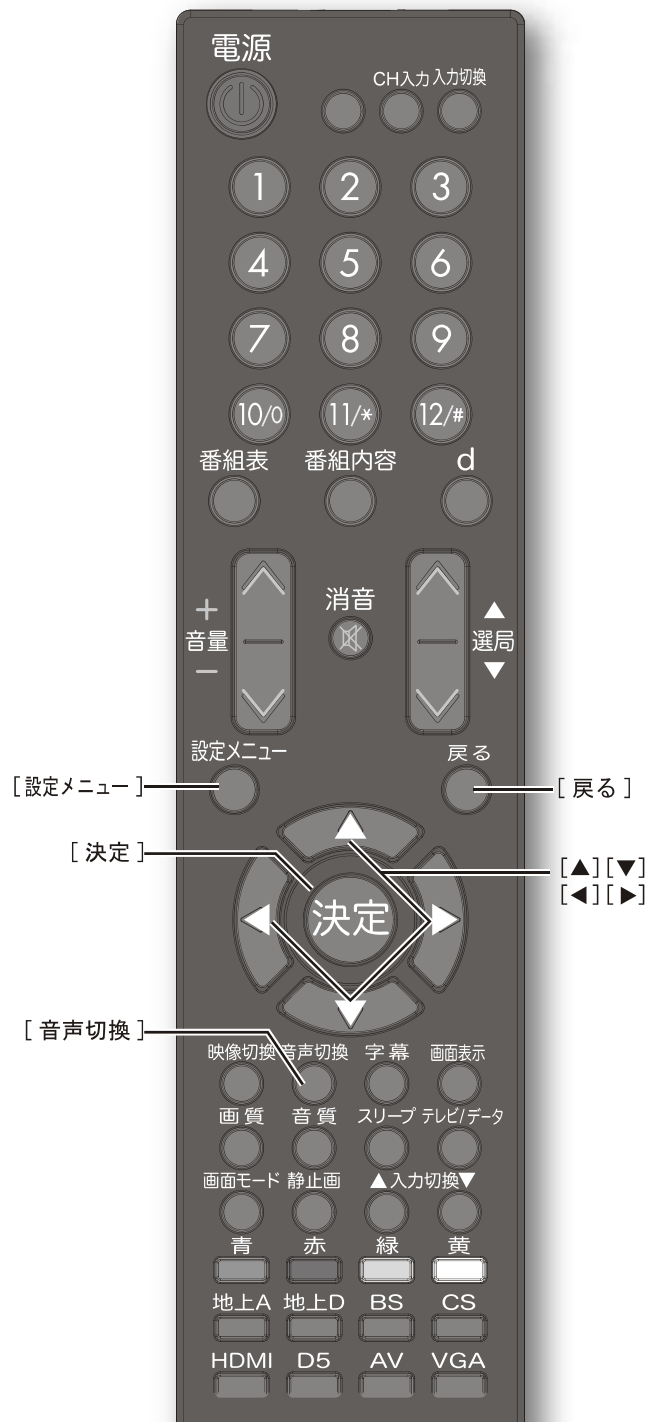
- [音声切換] を押して切り換えることもできます。

音質モード

本機の音質を設定します。

◇選択項目

- 音楽** : 高音・低音とも強調する音楽に向けた設定です。
- 映画** : 映画に向けた設定です。
- ニュース** : 高音・低音をやや抑えます。ニュースなど、人間の声の音域に適切な設定です。
- ユーザー設定** : 高音・低音など、お好みに合わせて設定します。上述の低音・高音のいずれかを調整すると自動的にこのモードになります。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲][▼]/[◀][▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、一つ前の画面に戻る

● 機器設定

本機の設定を行います。
「基本的な操作」(⇒ 42 ページ)



表示言語 / Language

設定メニューの言語を設定をします。

◇ 選択項目

- 日本語** : 日本語で表示します。
- English** : 英語で表示します。

視聴制限設定

視聴制限の設定をします。

メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。サブメニューを選択すると暗証番号入力の画面になりますので、数字ボタンを押して暗証番号を入力してください。(工場出荷時は 0000 に設定されています。)



視聴年齢制限設定

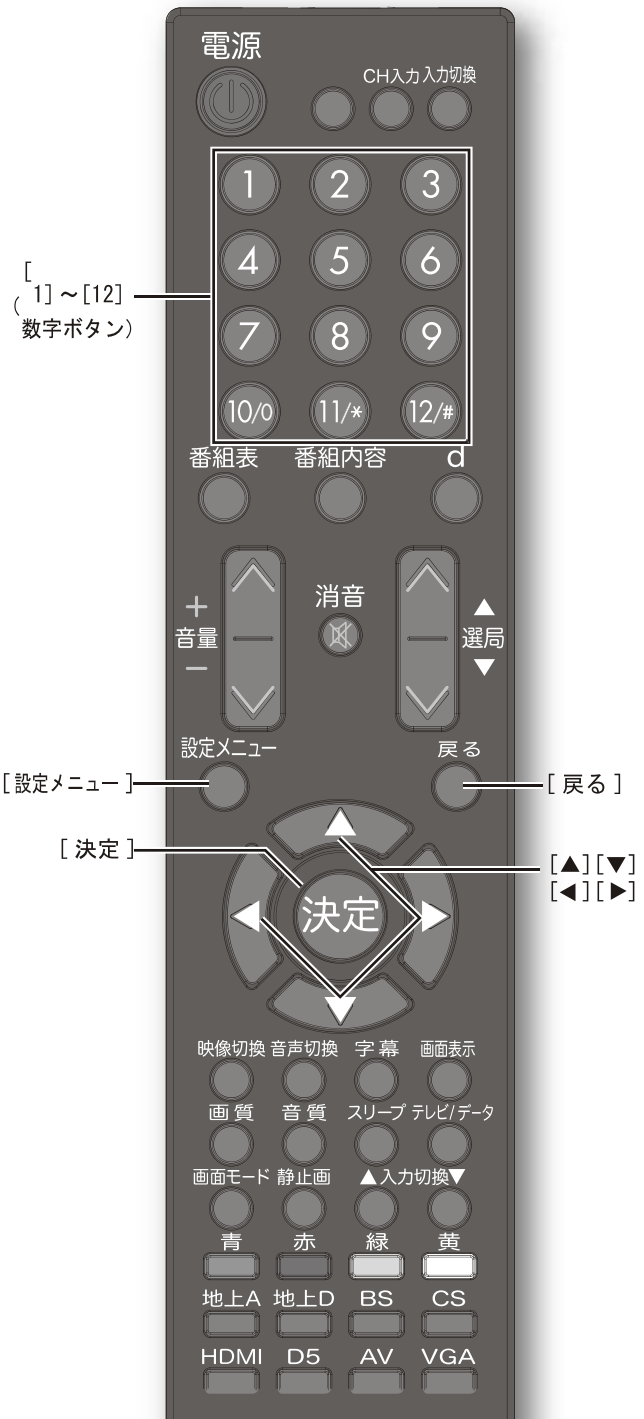
ペアレンタルコード(視聴制限コード)が設定されている番組の視聴に関する設定を行います。[決定]を押してサブメニューを表示させ、ご希望の年齢を選択して再度[決定]を押してください。

◇ 設定範囲

制限なし、4歳～18歳

お知らせ

- 設定された視聴制限を超える番組を受信時に、暗証番号入力画面が表示されます。正しい暗証番号が入力されないとその番組の視聴はできません。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

視聴制限設定（つづき）

暗証番号設定

視聴制限に使う暗証番号を設定・変更します。

- ① 現在の暗証番号を数字ボタンを押して入力する
- ② 新しい暗証番号を数字ボタンを押して入力する
[10] は「0（ゼロ）」として使用します。
- ③ 新しい暗証番号を再入力する

暗証番号削除

暗証番号を削除し、視聴制限を無効にします。現在の暗証番号を入力すると、暗証番号は削除されます。再度暗証番号を設定するには、前述の「暗証番号設定」メニューをお使いください。（この場合、現在の暗証番号を入れる画面は表示されません。）

⚠️ ご注意

- 暗証番号は必ず紙などを書いて保存し、忘れたり無くしたりしないようにご注意ください。暗証番号がわからなくなると、初期化および再設定が必要になり、登録された設定やデータが初期化されてしまいます。

省エネモード

バックライトを暗くし、消費電力を抑えます。

◇ 選択項目

- オン**：省エネモードに設定します。
- オフ**：省エネモードをキャンセルします。

無信号自動電源オフ

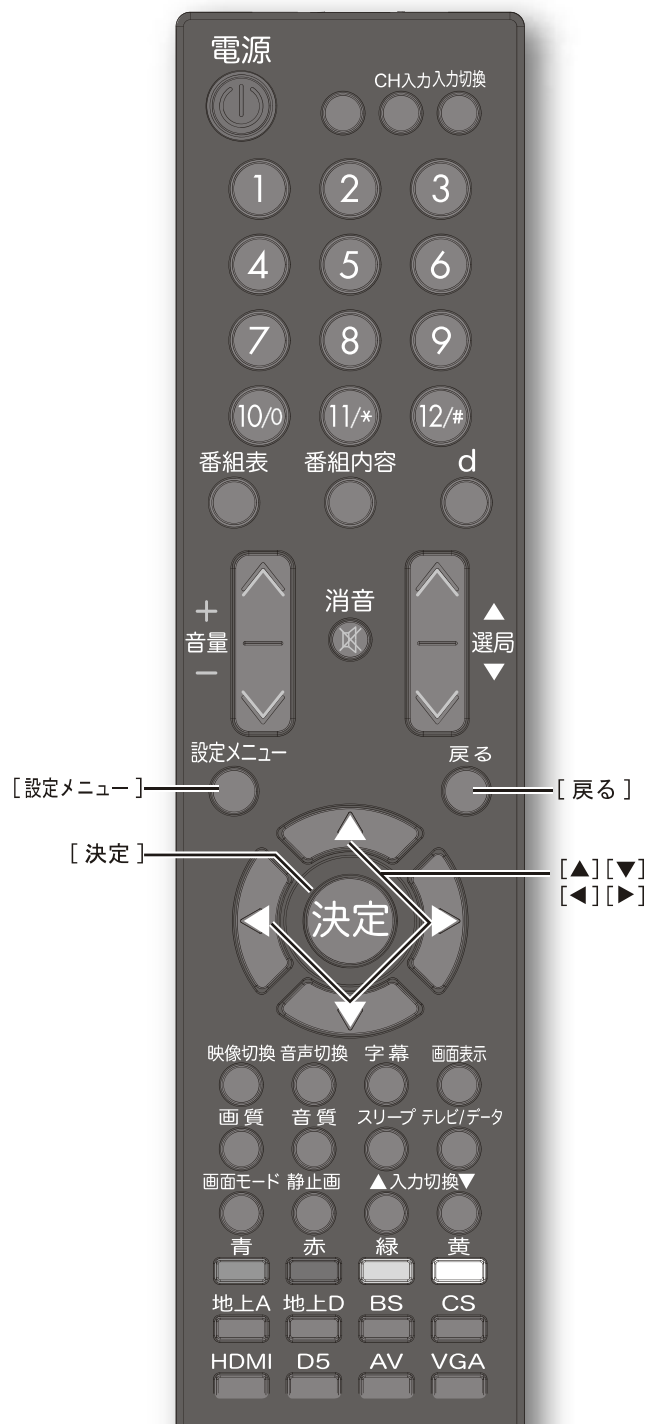
15分以上無信号状態でどの操作ボタンも押されなかった場合に電源をオフにする機能です。

◇ 選択項目

- オン**：自動的に電源をオフにします。
- オフ**：自動的に電源をオフにしません。

ソフトウェア情報

本機ソフトウェアのバージョン番号を表示します。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

機器設定 (つづき)

機器情報

B-CAS カードの情報や、本機の設定情報を表示します。メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



設定メニューを使う

B-CAS カード情報

ご使用中の B-CAS カードの番号を表示します。

地域設定

お住まいの地域を設定します。まず地域を選択して **[決定]** を押します。右側の県名表示部分にカーソルが移動しますので、お住まいの県名を選択して **[決定]** を押します。

郵便番号設定

お住まいの地域の郵便番号を設定します。数字ボタンを押して郵便番号を入力した後、**[▼]** を押して設定終了を選び、**[決定]** を押してください。

[10] は「0 (ゼロ)」として使用します。

放送メール

メールや掲示板の情報を表示します。メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



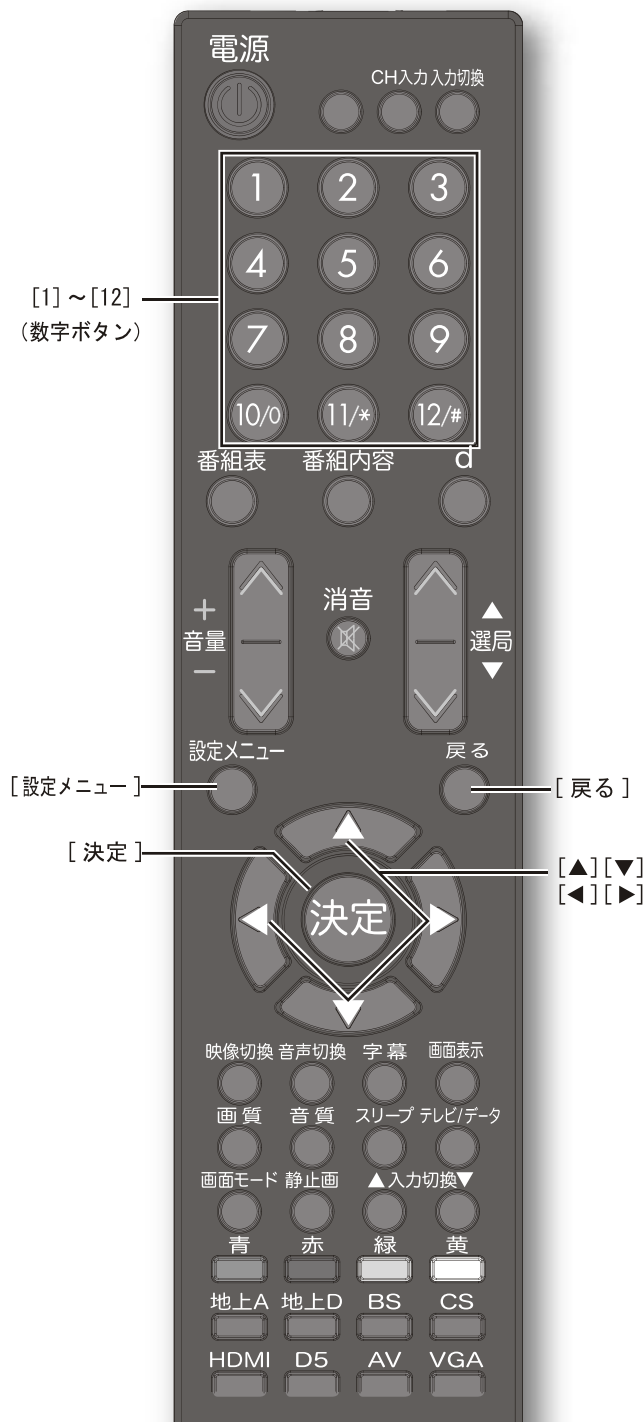
メール

地上デジタル放送の周波数リストが変更された時、BS・110度CS デジタル放送の放送局ロゴが変更された時の放送局よりの通知メールなど、受信したメールを表示します。

メールを選択して **[決定]** を押すと一覧画面が表示されます。各タイトルの冒頭に未読の場合は閉じた封筒、既読の場合は開いた封筒のアイコンが表示されます。読みたいタイトルを選択して **[決定]** を押すと本文が表示されます。

CS 掲示板

110度CS デジタル放送波より通知される掲示板情報を表示します。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

受信設定

テレビの視聴に関する設定を行います。
メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



字幕切換

字幕の言語設定を行います。

◇選択項目

- オフ** : 字幕を表示しません。
- 字幕第一言語** : 第一言語で表示します。
- 字幕第二言語** : 第二言語で表示します。

文字スーパー表示

文字スーパーの言語を設定します。

◇選択項目

- オフ** : 文字スーパーを表示しません。
- 第一言語** : 第一言語で表示します。
- 第二言語** : 第二言語で表示します。

テレビ / データ切換

地上デジタル放送 / BS・110度CSデジタル放送には、放送番組に連動したデータ放送サービスと、放送番組とは独立したデータ放送サービスがあります。このメニューでは番組とは独立したデータ放送の受信を設定します。

◇選択項目

- テレビ** : 通常のテレビ放送
- データ** : 独立したデータ放送

お知らせ

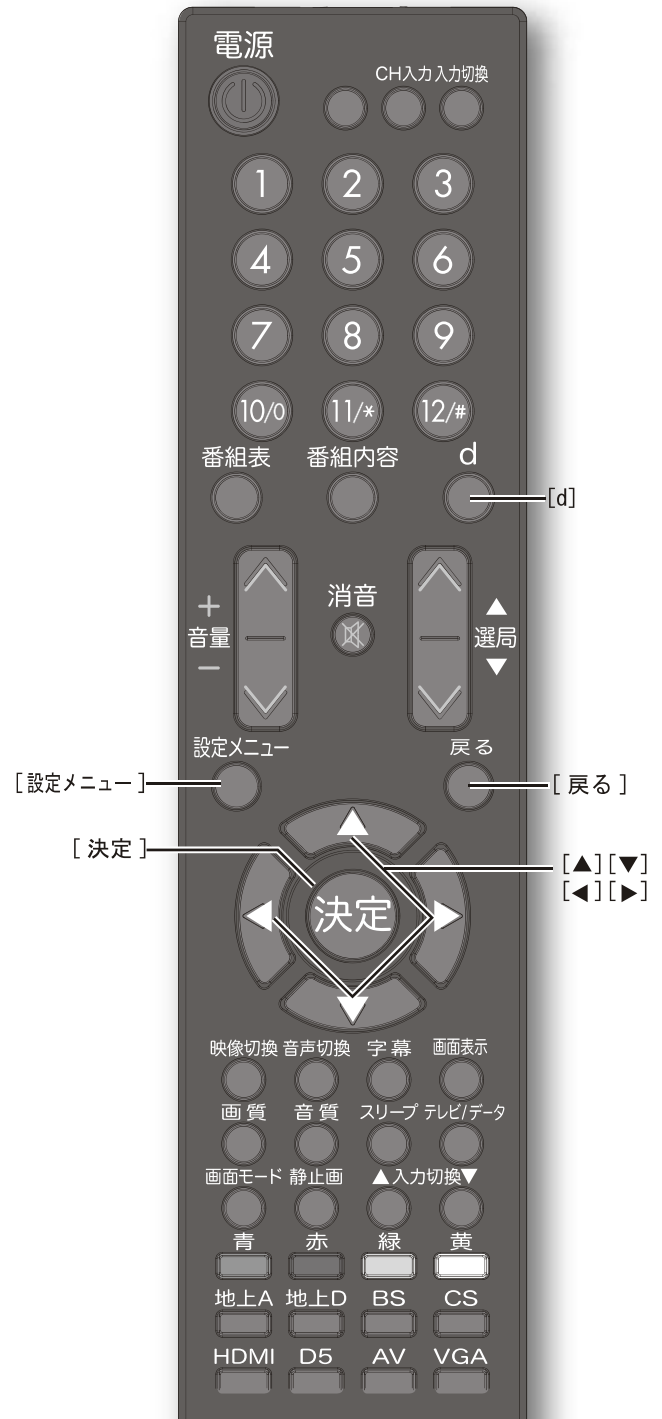
- 番組に連動したデータ放送をご覧になるには [d] を押してください。

降雨対応放送切換

降雨対応放送とは、雨天などBS・110度CS放送の受信状態が悪い時に画質や音質が通常放送に比べて低下した状態で引き続き受信するものです。通常は自動に設定してください。

◇選択項目

- 自動** : 自動的に切り換えます。
- オフ** : 切り換えません。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

機器設定 (つづき)

スリープタイマー設定

スリープタイマーの設定を行います。
メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。

スリープタイマー

本機の電源を切るまでの時間を設定します。

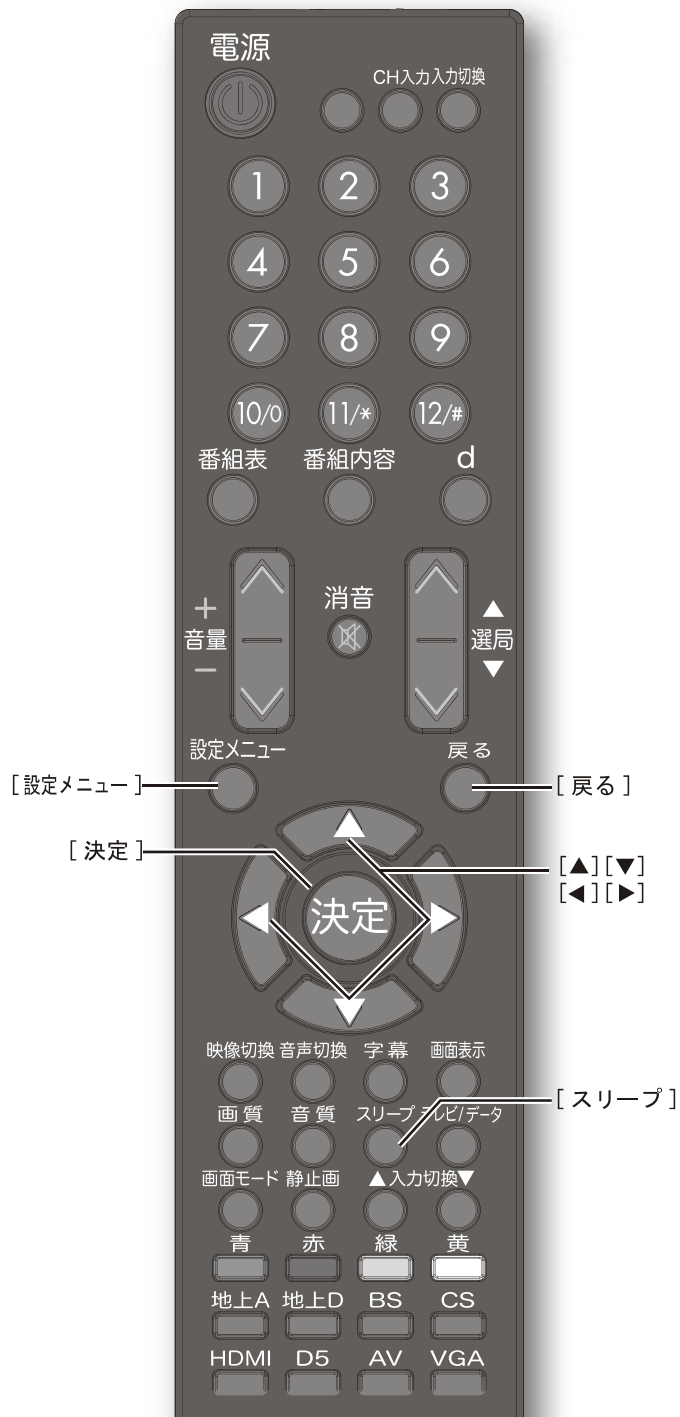
◇設定範囲

0(オフ)/ 30分 / 60分 / 90分 / 120分

お知らせ

● [スリープ] を押しても設定できます。

設定メニューを使う



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

● 初期設定

本機の初期設定を行います。
「基本的な操作」(☞ 42 ページ)



アンテナ設定

テレビの受信設定を行います。
メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



地上デジタルのアンテナレベル

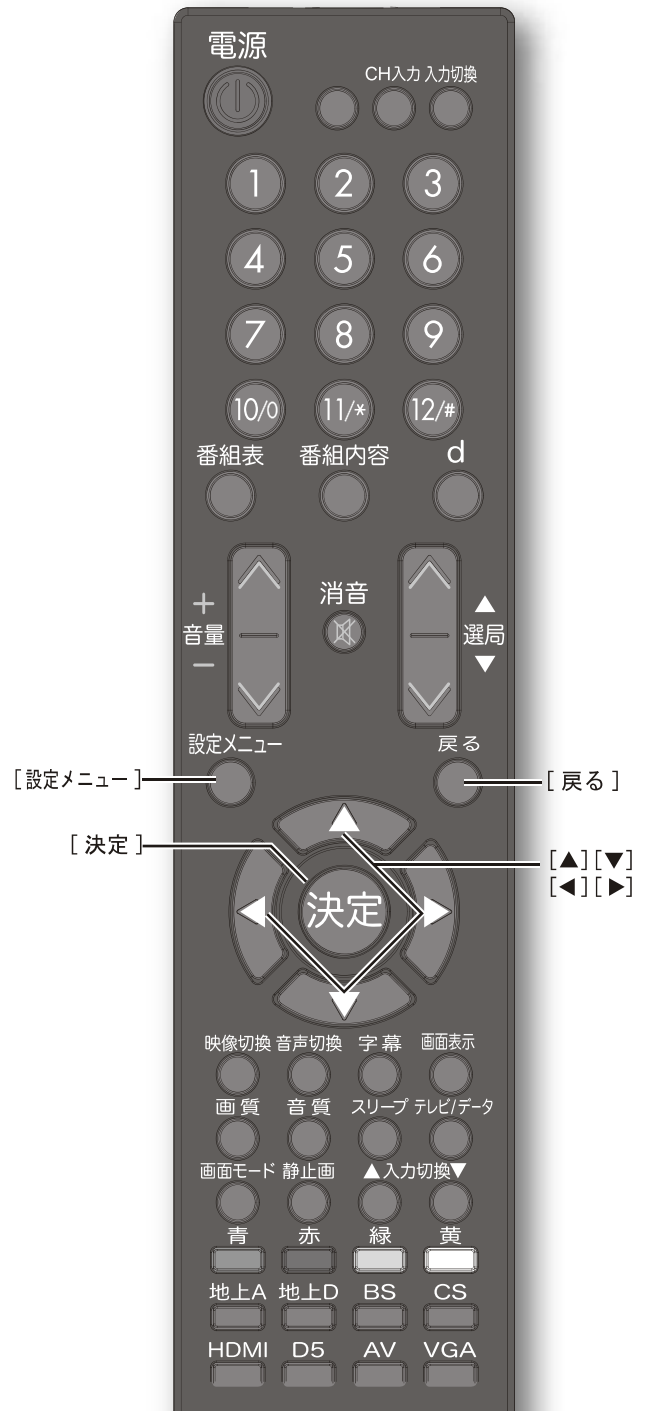
地上デジタル放送の受信レベルを表示します。

BS・110度 CS アンテナレベル

BS・110度 CS 放送の受信レベルを表示します。

BS・110度 CS アンテナ電源設定

本機からアンテナへの電源供給を行うかどうかの設定をします。BS・110度 CS アンテナには電源が必要です。初期設定では、本機からアンテナに電源を供給する設定(オン)になっています。本機とは別の衛星放送受信機器からアンテナ電源を供給している場合は、本機の設定をオフにしてください。



設定メニューを使う

設定メニュー中の基本操作

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| [設定メニュー] | [決定] |
| 設定メニューを表示 | 選択の決定 |
| [▲]/[▼]/[◀]/[▶] | [戻る] |
| 項目の選択、調整 | 選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る |

初期設定 (つづき)

地上アナログ自動設定

お住まいの地域のアナログ放送の受信チャンネル等を設定します。

メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



初期スキャン : ご購入直後の場合にお選びください。

再スキャン : 再度設定する場合にお選びください。

アナログ放送帯域をスキャンし、放送されているチャンネルをメモリーに記憶します。終了後、「オートスキャンが終了しました。チャンネル一覧を表示しますか?」と表示されます。**はい**または**いいえ**を選択して**[決定]**を押してください。**はい**を選択すると次項の「リモコンの詳細決定」のメニューに移行します。

地上デジタル・BS・110度CS自動設定

お住まいの地域の地上デジタル放送またはBS・110度CS放送の受信チャンネル等を設定します。はじめにご希望の放送種別(地上D、BS、またはCS)を選択し、次に地域・郵便番号の設定を行ってください。

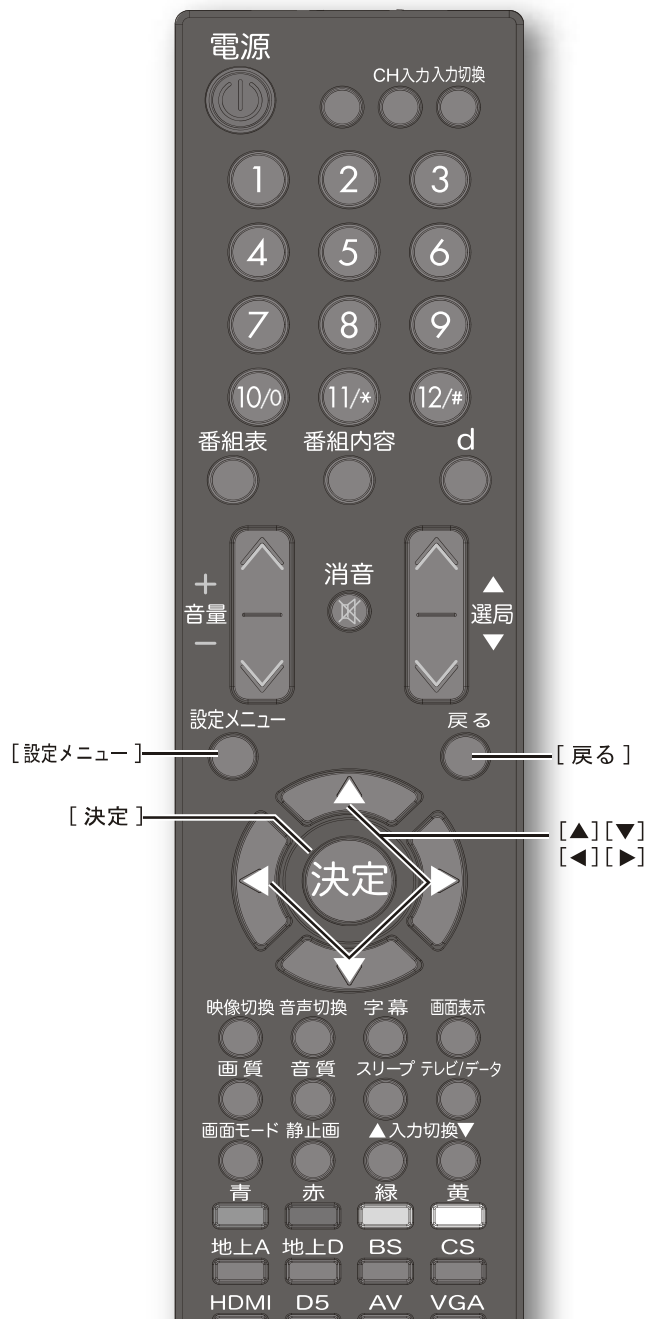
メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



初期スキャン : ご購入直後の場合にお選びください。

再スキャン : 再度設定する場合にお選びください。

選択された帯域をスキャンし、放送されているチャンネルをメモリーに記憶します。終了後、「オートスキャンが終了しました。チャンネル一覧を表示しますか?」と表示されます。**はい**または**いいえ**を選択して**[決定]**を押してください。**はい**を選択すると次項の「リモコンの詳細決定」のメニューに移行します。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

リモコンの詳細設定

各チャンネルはリモコンの数字ボタンに登録されており、ワンタッチで呼び出すことができます。この数字ボタンへのチャンネルの割り当てを変更することができます。はじめにご希望の放送種別（地上 A、地上 D、BS、または CS）を選択してください。メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



地上アナログ放送

変更したいボタンの数字を選んで **[決定]** を押すと、以下のメニューを選択し、設定することができます。

ボタン

そのチャンネルを選局する時に押す数字ボタンの数字を入力してください。

微調整

[▲]/[▼] を押して最良の受信状態に調整してください。

スキップ

[選局▲]/[選局▼] で順送り選局をする場合、このチャンネルを含める (●) か除く (✓) かの設定をします。 **[決定]** を押して切り換えてください。

地上デジタル・BS・110度CS放送

変更したいボタンの数字を選んで **[決定]** を押すと、以下のメニューを選択し、設定することができます。

ボタン

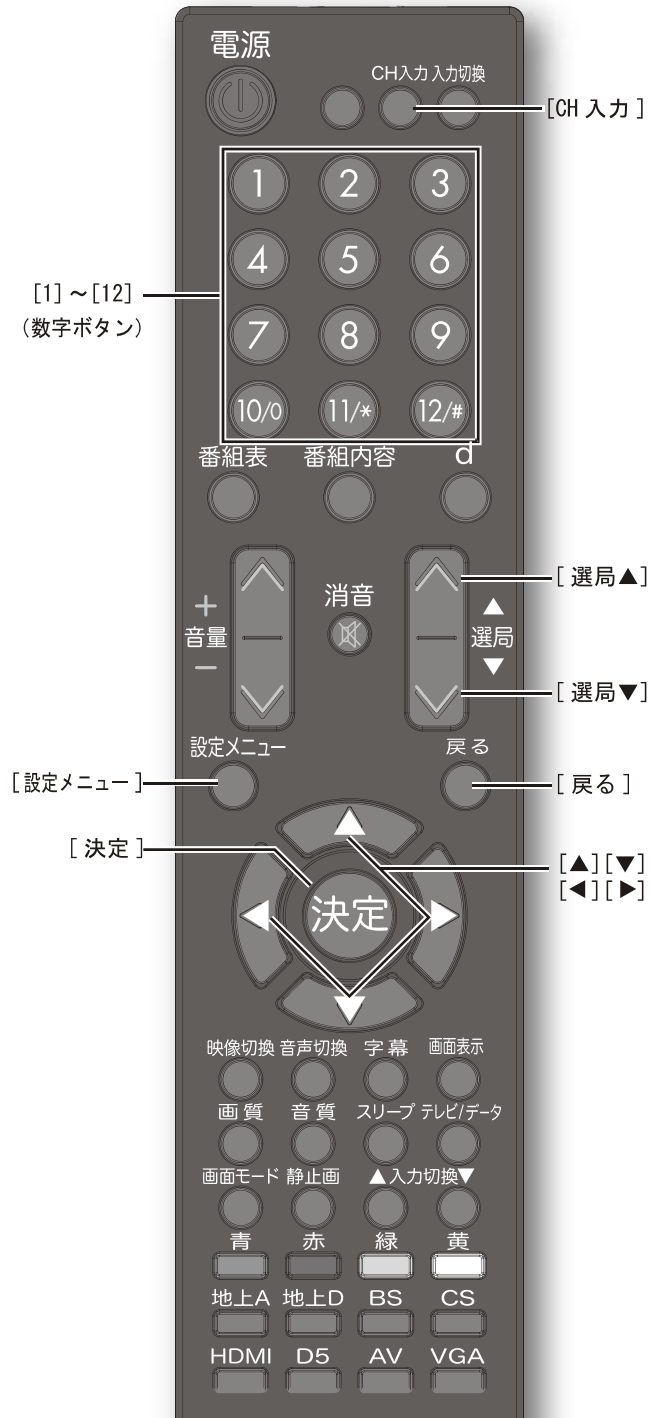
そのチャンネルを選局する時に押す数字ボタンの数字を入力してください。

スキップ

[選局▲]/[選局▼] で順送り選局をする場合、このチャンネルを含める (●) か除く (✓) かの設定をします。 **[決定]** を押して切り換えてください。

お知らせ

- 順送り選局に含まれていないチャンネルを選局するには、**[CH入力]** を押した後数字ボタンを押してご希望のチャンネル番号を入力してください。



設定メニューを使う

設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー] 設定メニューを表示	[決定] 選択の決定
[▲]/[▼]/[◀]/[▶] 項目の選択、調整	[戻る] 選択・調整を確定し、 一つ前の画面に戻る

初期設定 (つづき)

ネットワーク設定

ネットワークの設定を行います。
メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



IP 設定

IP アドレスの設定をします。
メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



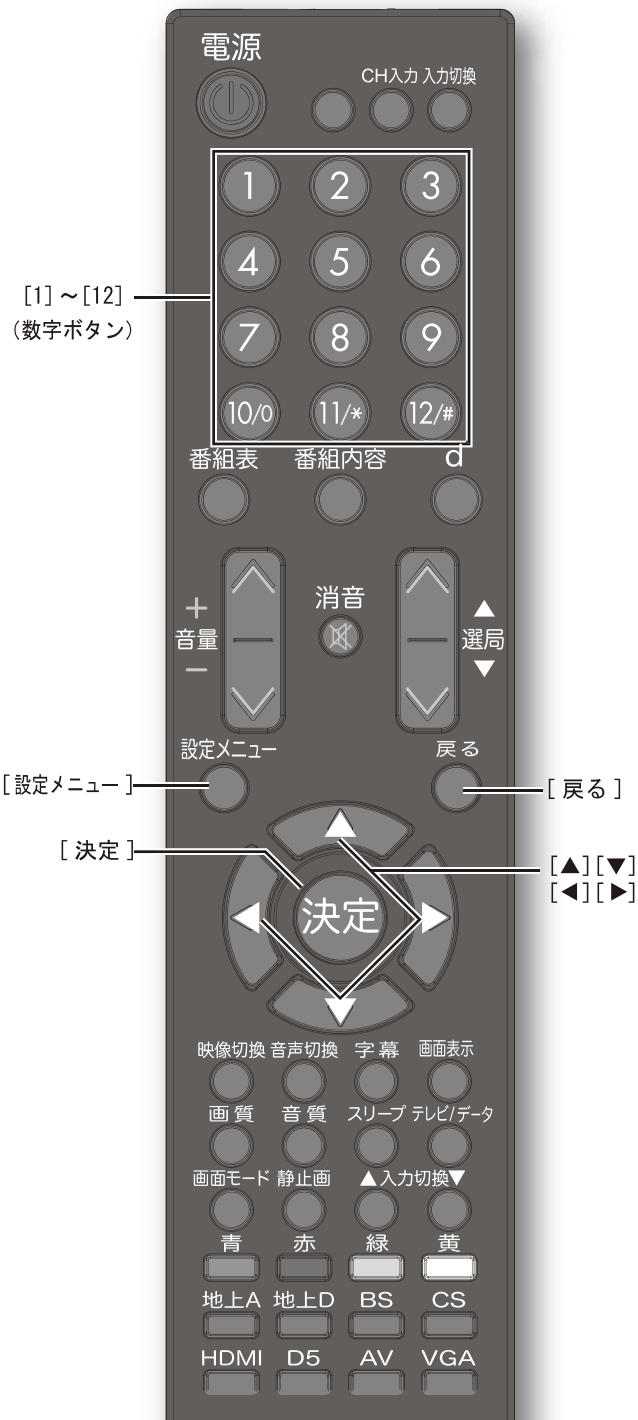
① DHCP の オン / オフを選択する

- DHCP メニューを選択し、[決定]を押して選択メニューを表示させ、[▲]/[▼]を押して**オン / オフ**を選んでください。
- 通常はルーターやプロバイダーの DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバー機能により、自動的にネットワークの設定が割り当てられますので、**オン**を選択してください。(手順③へ)

② (DHCP メニューで **オフ** を選択した場合) IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを数字ボタンを押して入力する

[10] は「0 (ゼロ)」として使用します。

③ [▲]/[▼]を押して設定終了を選び、[決定]を押す



設定メニュー中の基本操作

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| [設定メニュー] | [決定] |
| 設定メニューを表示 | 選択の決定 |
| [▲]/[▼]/[◀]/[▶] | [戻る] |
| 項目の選択、調整 | 選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る |

ネットワーク設定（つづき）

DNS 設定

接続する DNS（Domain Name System）サーバーの設定をします。

メニューを選択すると、サブメニューが表示されます。



① DNS アドレス自動取得の オン / オフを選択する

- DNS アドレス自動取得メニューを選択し、**[決定]**を押して選択メニューを表示させ、**[▲]/[▼]**を押して**オン / オフ**を選んでください。
- 通常は**オン**を選択してください。（手順③へ）

② (DNS アドレス自動取得メニューで オフを選択した場合) DNS プライマリ・DNS セカンダリを数字ボタンを押して入力する

[10] は「0（ゼロ）」として使用します。

③ **[▲]/[▼]**を押して設定終了を選択し、**[決定]**を押す

MAC アドレス

IP 設定または DNS 設定が必要な場合にご覧ください。

接続テスト

設定終了後、このメニューを使って接続テストができます。

設定の初期化

メニューを選択すると初期化される項目が表示されます。よくお読みの上、初期化または中止を選び、**[決定]**を押してください。

地域・郵便番号の設定

お住まいの地域と郵便番号を設定します。

地域設定

お住まいの地域を設定します。

① 地域を選択し、**[決定]**を押す

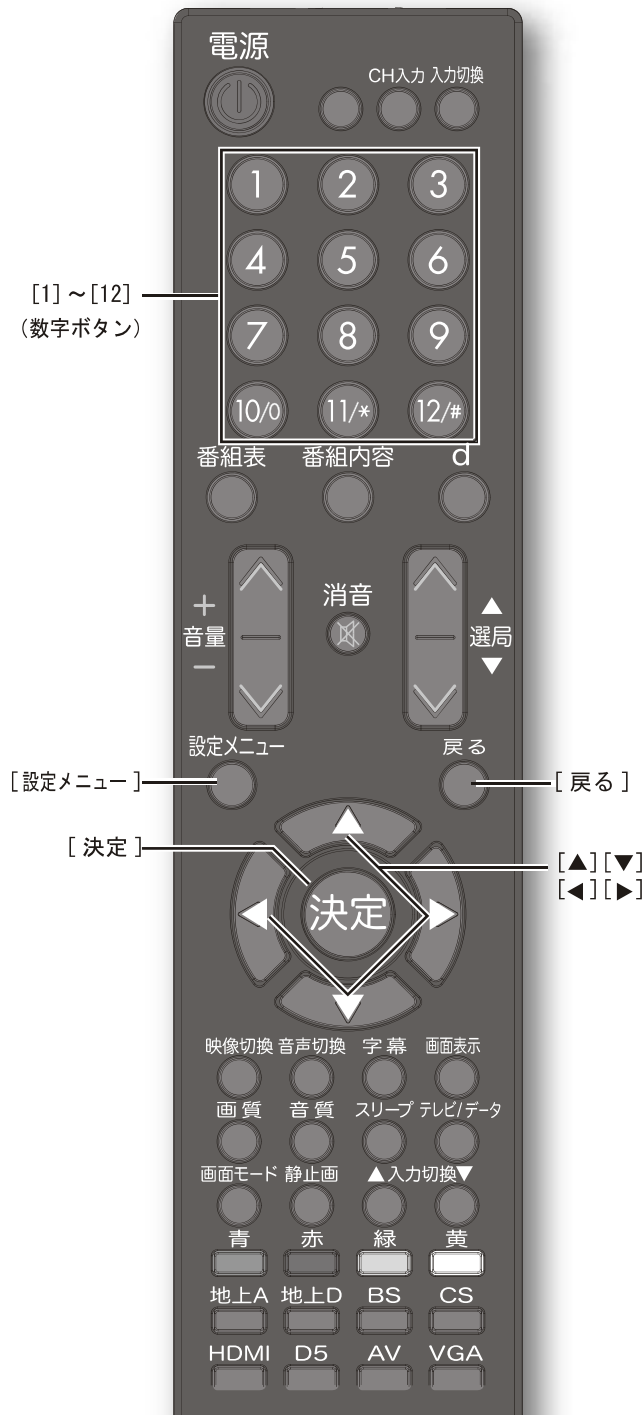
右側の県名表示部分にカーソルが移動します。

② 県名を選択し、**[決定]**を押す

郵便番号設定

お住まいの地域の郵便番号を設定します。数字ボタンを押して郵便番号を入力した後、**[▼]**を押して設定終了を選び、**[決定]**を押してください。

[10] は「0（ゼロ）」として使用します。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

画面調整

VGA 入力時の画面を調整します。他のモードでこのメニューを選択すると「VGA 入力でのみ有効です」と表示され、調整できませんのでご注意ください。また、入力信号がない場合も調整できません。
「基本的な操作」(P.42 ページ)



設定メニューを使う

水平位置

画面に対する映像の表示位置を左右方向で調整します。

垂直位置

画面に対する映像の表示位置を上下方向で調整します。

水平サイズ

左右方向の画面サイズを調整します。

垂直サイズ

上下方向の画面サイズを調整します。

クロック

画面に縦のしま模様が出るときや、文字や画像の一部が鮮明でないときに調整します。画像の縦じまがなくなるように調整します。

位相

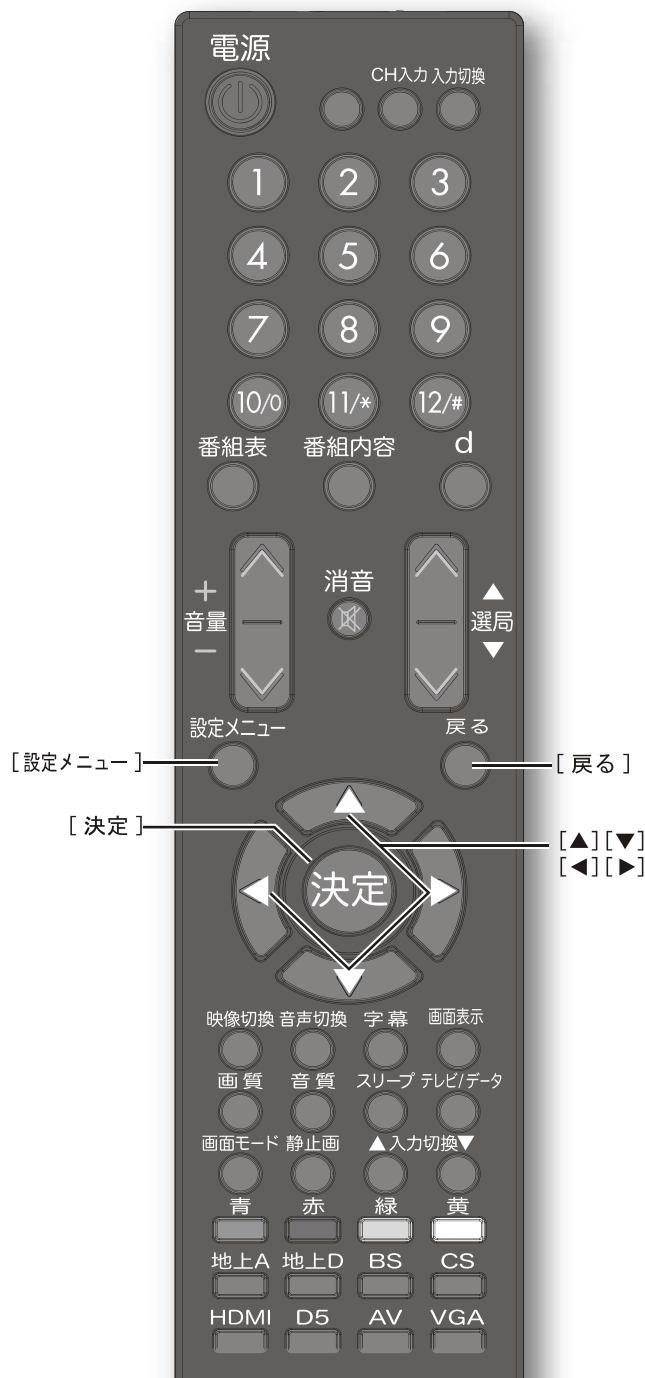
画面の横じまや縦の線がかすれたりかけたりしているとき、文字や画像がぼんやりするときなどに調整します。画像の横じまが最小になるように調整します。

自動調整

画面に対する映像の表示位置を調整します。

初期化

すべての画面調整を工場出荷時に戻します。



設定メニュー中の基本操作

[設定メニュー]

設定メニューを表示

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]

項目の選択、調整

[決定]

選択の決定

[戻る]

選択・調整を確定し、
一つ前の画面に戻る

接続した機器を使う

この章では、他の機器を接続した場合の操作方法についてご説明いたします。

	ページ
接続した機器の映像を見る	60
接続した機器を通して音声を聞く	61

● 接続した機器の映像を見る

1 接続を確認する

28～30ページをご覧ください、接続を確認してください。

2 入力を切り換える

① [入力切換] を押す

② 続けて [入力切換] を押すか、[▲]/[▼] を押して入力を選び、[決定] を押す

[決定] を押さなくても、しばらく待つと選択した入力に切り換わります。

順送りで切り換える場合は

③ [▲入力切換]/[入力切換▼] を押す

以下の順番で切り換わります。また、リモコンのボタン1つで直接切り換えることもできます。

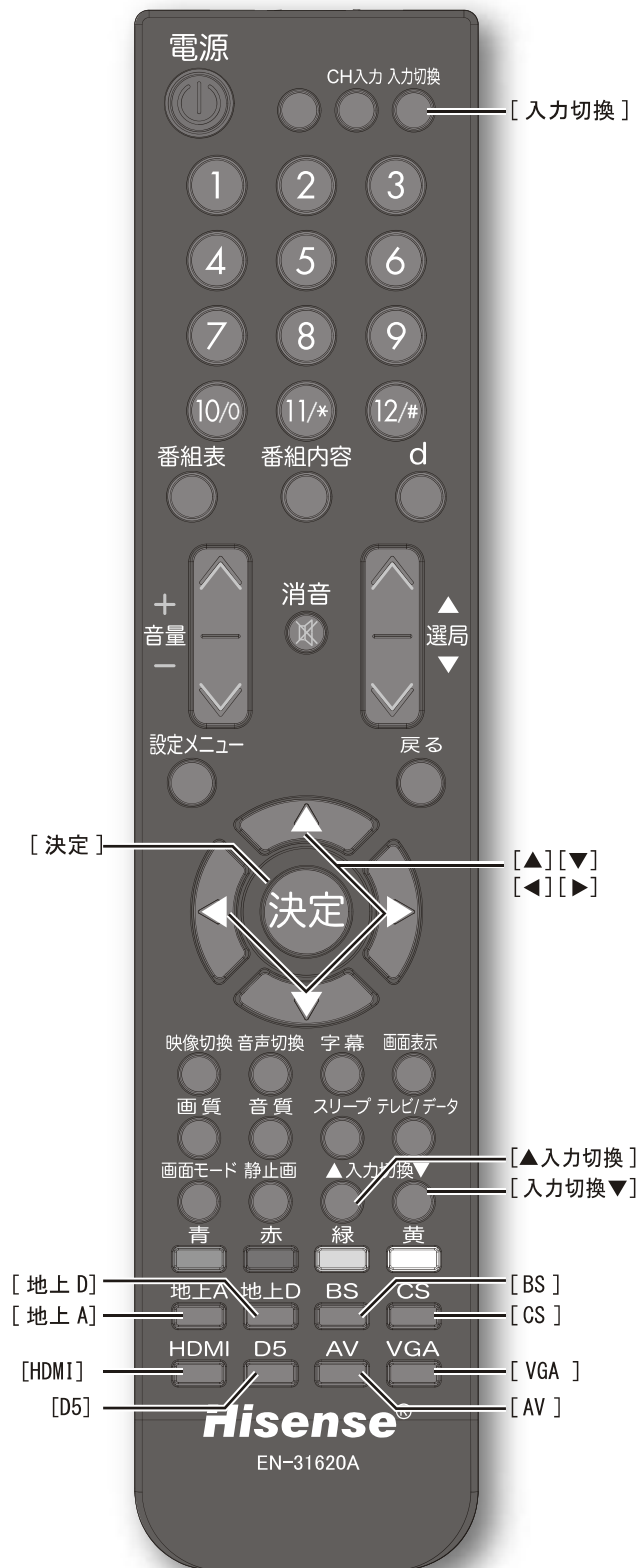
地上アナログ	: [地上 A] を押す
地上デジタル	: [地上 D] を押す
BS デジタル	: [BS] を押す
CS 1 デジタル	: [CS] を押す
(CS 2 デジタル)	: [CS] を 2 度押す
AV	: [AV] を押す
D 端子 入力	: [D5] を押す
VGA (PC-アナログ)	: [VGA] を押す
HDMI 入力 1	: [HDMI] を押す
HDMI 入力 2	: [HDMI] を 2 度押す

お知らせ

- 地上アナログ TV を選択中に [▲入力切換] を押した場合、また HDMI 入力 2 を選択中に [入力切換▼] を押した場合、入力は切り換わりません。
- 110度CSデジタルは、選択されている衛星プラットフォーム (CS1デジタル、または CS2デジタル) が入力切換メニューの中に表示されます。

3 接続した機器を再生する

接続した機器の取扱説明書をご覧ください、機器を再生してください。



● 接続した機器を通して音声を聞く

本機のデジタル放送の音声をお手持ちの AV アンプなどを使用して高音質でお楽しみいただけます。31 ページをご覧ください、接続を確認してください。

- ① AV アンプを本機の光デジタル音声出力端子からの入力に設定する
- ② [消音] を押して本機を消音に設定する



その他の情報

この章では、故障かなと思った場合の対処方法や用語の説明など、必要に応じてご参照いただく内容を記載しています。

	ページ
故障かな？と思ったら	64
用語の解説	70
主な仕様	72
保証とアフターサービス	74

● 故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

まず、以下の点をご確認ください。

- ・アンテナ線や電源コード、その他の接続
- ・入力切換の設定

以下の状態は故障ではありません。

画面の中に、点灯したままの点、または点灯しない点がある

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る

周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するため起こる音です。故障ではなく、性能等におよぼす悪影響もありません。

デジタル放送のチャンネルを変えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る

デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など、映像の解像度が変化するとき、同期信号など白い線が見えることがあります。

豪雨や豪雪のときに、映像が乱れたり、まったく映らなくなったりする

衛星放送のアンテナは、比較的天候の影響を受けやすいため、豪雨や豪雪の際は受信感度が落ちることがあります。受信する地域が晴れていても、放映している地域の天候が悪いと、映りが悪くなることがあります。

深夜一時的に映像が映らなくなる

春分の日や秋分の日前後 20 日程度は、人工衛星が地球の陰に入るため、深夜一時的に映像が見られなくなることがあります。

原因と対策

● 全般

問題	原因	対策
映像も音も出ない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに挿してください。
	[主電源]がオフになっている。	[主電源]をオンにしてください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。(⇒60ページ)
電源が突然切れた / いくつかの間にか切れていた。	スリープタイマーが設定されている。	スリープタイマーをオフにしてください。
	無信号電源オフが働いた。	再度電源を入れてください。
リモコンが動作しない。	電池が適切に入っていない。	指定された電池を、指定された向き(+)で、適切に入れてください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	向きが適切でない。	リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
	本機のリモコン受光部に、強い光が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たっていると、操作を受け付けない場合があります。カーテンやその他の遮へい物で光を調整してください。
	近くに電子レンジがある。	近くに電子レンジがあると、操作を受け付けない場合があります。できるだけ本機と電子レンジは離して設置してください。

●映像（全般）

問題	原因	対策
色がおかしい / 画面が暗い。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。(☞ 43 ページ)
	省エネモードがオンになっている。	省エネモードをオフにしてください。(☞ 49 ページ)
画面がまぶしい。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。(☞ 43 ページ)
画面が一部切れる / 画面が歪む。	画面モードが適切でない。	[画面モード] または設定メニューで適切な設定を選んでください。(☞ 40・44 ページ)

●映像（地上アナログ）

問題	原因	対策
受信できないチャンネルがある。	チャンネル設定が適切でない。	チャンネル設定をなおしてください。(☞ 54 ページ)
画像が二重 / 三重になる。	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	適切に調整してください。
雪が降っているような画面 / 薄い画面 / ちらついたりした画面になる。	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	アンテナが壊れたり曲がったりしている。	アンテナの修理または買い換えを行ってください。
	アンテナが老朽化している。	アンテナの修理または買い換えを行ってください。
	地上波アンテナの接続に、本機付属のアンテナケーブルを使用していない。	本機付属のアンテナケーブルを使用してください。
斑点や点模様が出る。	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	ヘアドライヤー、自動車、バイク等の電波干渉を受けている。	道路などの雑音電波のもとから、アンテナをなるべく離して設置してください。
	地上波アンテナの接続に、本機付属のアンテナケーブルを使用していない。	本機付属のアンテナケーブルを使用してください。
色じま模様等のノイズが多い。	雑音電波の影響を受けている。	アンテナ線は電源コードや他の接続ケーブルからできるだけ離してください。 フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいので、できるだけ使用しないでください。
	地上波アンテナの接続に、本機付属のアンテナケーブルを使用していない。	本機付属のアンテナケーブルを使用してください。

●映像（デジタル放送）

問題	原因	対策
映像も音も出ない。	強風などでアンテナの向きが変わっている。	アンテナの向きを適切に調整してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。(☞ 60 ページ)
	アンテナ電源が「切」になっている。	アンテナ電源を「入」に設定してください。(☞ 53 ページ)
	B-CAS カードが適切に挿入されていない。	適切に挿入してください。(☞ 24 ページ)
地上デジタルの受信設定ができない / 放送を受信できない。	アンテナが適切に接続されていない。	アナログ・地上デジタルアンテナ入力にアンテナをしっかりと接続してください。
	アンテナが地上デジタルに対応していない。	地上デジタルに対応したアンテナを使用してください。
	チャンネル設定をしていない。	チャンネル設定をしてください。(☞ 54 ページ)
地上デジタルが映らない / 画像が乱れる。	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	受信レベルが 50 以上になるようにアンテナの位置 / 方向 / 角度を適切に調整してください。(☞ 53 ページ)
	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	チャンネル設定が適切でない。	チャンネル設定をなおしてください。(☞ 54 ページ)
画面が暗くなり、何も映らない。	ブースターのレベルを上げすぎている。	ブースターのレベルを下げてください。
	ラジオ放送を受信している。	デジタル放送では音声のみの放送もあります。映像を楽しみたい時は、他のチャンネルをお選びください。



故障かな？と思ったら（つづき）

●映像（デジタル放送）（つづき）

問題	原因	対策
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(衛星アンテナを直接つないでいる場合)	衛星アンテナがデジタル放送受信に対応していない。	デジタル放送に対応しているアンテナをご利用ください。
	衛星アンテナの前に障害物がある。	障害物を取り除くか、アンテナの取り付け位置を変更してください。
	衛星アンテナに雪が付着している。	雪を取り除いてください。
	衛星アンテナのコネクターの防水が不十分。	防水型のコネクターをご利用ください。
	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。
	衛星アンテナの電源が入っていない。	アンテナの電源は「オン」にしてください。(53ページ)
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(マニションなどの共同受信システムの場合)	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。
	分波が適切でない。	サテライト U/V 分波器で、VHF/UHF と BS デジタル /110 度 CS デジタルを分波してください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(複数の BS 機器をサテライト分配器でつないでいる場合)	衛星アンテナ用電源を供給する機器のスイッチが「オン」になっていない。	「オン」にしてください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(その他)	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	指定されたケーブルを使用していない。	指定されたケーブルを使用してください。
	有料チャンネルの受信申し込みが完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
BS デジタルは映るのに、110 度 CS デジタルが映らない。	アンテナや分配器、ブースターなどが 110 度 CS デジタルに対応していない。	110 度 CS デジタルに対応したものをお使いください。
	BS アナログチューナー内蔵のビデオデッキ経由でアンテナを接続している。	分配器を使って本機と BS アナログチューナー内蔵ビデオデッキそれぞれにアンテナを接続してください。
	衛星アンテナレベルの設定が不適切。	適切に設定してください。
	受信契約が完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルの映像が、通常に比べ画質 / 音質が低下した映像に勝手に切り替わる。	激しい雨などの影響で、降雨対応放送に切り替わっている。	頻繁に切り替わり、気になる時は「降雨対応放送受信」を「オフ」にしてください。

●接続した機器について

問題	原因	対策
接続した機器の映像が出ない。	コードの接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。(56 ページ)
	接続した機器の出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
パソコンの映像が出ない。	パソコンが、テレビに画像を出力できるように設定されていない。	パソコンの取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
ビデオの再生 / 録画時に縞状のノイズが出る。	ビデオデッキが本機の近くにあるため、電磁波の干渉が起きている。	ビデオデッキを本機からなるべく離して設置してください。
ビデオの再生 / 録画時に映像が乱れたり、映らなくなったりする。	コンポジット映像信号（通常の映像信号）を、AV アンプなどの外部機器を通してコンポーネント映像信号に変換すると、映像が乱れたり、映らなくなることがあります。	コンポジット映像信号を、本機のAV入力に直接接続してください。

●音声（全般）

問題	原因	対策
映像は出るが、音が出ない。	音量が下がりきっているか、「消音」になっている。	音量を上げてください。
片方からしか音が聞こえない / 左右の音量に差がある。	バランス設定が適切でない。	設定メニューでバランスを調整してください。 (☞ 46 ページ)

●音声（地上アナログ）

問題	原因	対策
雑音が多い。	地上波アンテナの接続に、本機付属のアンテナケーブルを使用していない。	本機付属のアンテナケーブルを使用してください。
	雑音電波の影響を受けている。	アンテナ線は電源コードや他の接続ケーブルからできるだけ離してください。 フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいので、できるだけ使用しないでください。
聞きたい音声になっていない。	主音声 / 副音声の設定が適切でない。	主音声 / 副音声の設定をなおしてください。 (☞ 40・47 ページ)

●音声（デジタル放送）

問題	原因	対策
音声が出ない / 音声がおかしい。	主音声 / 副音声の設定が適切でない。	主音声 / 副音声の設定をなおしてください。 (☞ 40・47 ページ)

●音声（接続した機器）

問題	原因	対策
画像は出るが、音が出ない。	接続した機器の音声出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
	音声ケーブルが正しく接続されていない。	音声ケーブルを正しく接続してください。
音声出力端子から音が出ない / 録音できない。	HDMI 入力端子およびコンポーネント入力端子に接続した機器を再生しているときは、デジタル放送 / ビデオ出力端子から音声は出力されません。また、光デジタル音声出力端子から音声は出力されますが、録音はできません。	

●番組表

問題	原因	対策
番組表や他チャンネルリストが表示されないチャンネルがある。	一定時間視聴するか、待機状態にしないと表示されません。	しばらくお待ちいただくか、待機状態にしてください。
	お住まいの地域が変わった。あるいは前回のチャンネルスキャン後に放送周波数が変更された。	お住まいの都道府県地域を適切に設定し、チャンネルスキャンをなおしてください。(☞ 50 ページ)
チャンネル検索で表示される番組が少ない。	電源を切っている間は、放送局が送信する番組情報を取得できないため。	しばらくお待ちください。
ジャンル検索した番組のジャンルが、番組説明で表示されるジャンルと異なっている。	番組説明ではひとつのジャンルのみが表示されますが、1つの番組が複数のジャンルを持っており、それぞれのジャンルで検索できるためです。	
キーワード検索ができない。	デジタル放送の番組情報データの「番組概要」に、キーワードが含まれていない。	番組概要の中に含まれているキーワードで検索してください。
	番組概要の文字と検索のキーワードが完全に一致していない。	完全に一致していないと検索できません。英字 / 数字、半角 / 全角の違いや、スペースの有無も一致している必要があります。
地上デジタルの放送局のロゴが表示されない。	一定時間視聴しないと、表示されません。	しばらくそのままお待ちください。

故障かな？と思ったら（つづき）

●その他

問題	原因	対策
[選局▲]/[選局▼] で選局できない。	お買い上げ時は、デジタル放送の放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）内で順送りに選局します。	ご覧になっている放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）と放送サービス（テレビ、ラジオ、独立データ）をご確認ください。
	チャンネル登録されてない。	チャンネル登録をしてください。
	複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているときに、代表チャンネル以外を選局しようとしている。	代表チャンネル以外は選択できませんので、代表チャンネルで選局してください。
ペーパービューなどの 有料放送が購入できな い。	LAN回線に適切につながっていない。	ペーパービューの購入にはLAN回線への接続が必要です。適切に接続してください。
	LAN回線の種類などが適切でない。	回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
	購入可能時間以外に購入しようとした。	番組によっては購入可能時間が設定されていますので、購入可能時間内に購入してください。
	購入可能件数を超えている。	購入可能件数を超えると購入できませんので、購入できるようになるまでお待ちください。
設定が正しく反映され ない。	本機に設定が反映（記録）される前に電源を切った。	デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後（約2分以内）に[主電源]をオフにすると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう一度設定をしておいてください。
メニューが表示されな い。	ソースによっては表示されないメニューもあります。	ソースを切り換えてください。
封筒のマークが表示さ れる。	デジタル放送や本機から発行されたメールが来ています。	メールの内容をご確認ください。（☞50ページ）
リモコンの数字ボタンの チャンネル割り当て がおかしい。	チャンネル設定の都道府県地域設定が適切でない。	お住まいの都道府県地域を適切に設定し、チャンネルスキャンをしておいてください。（☞50ページ）

●こんな表示が出たときは

エラー番号	エラー内容	対応方法
なし	xx（60～1）秒後に電源が切れます。どれかボタンを押すと解除されます。	スリープタイマーが電源を切るまでの時間の表示です。60秒からカウントダウンされます。解除するにはいずれかのボタンを押してください。
なし	チャンネルを切り換えますか？	登録していない有料放送チャンネルに切り換えようとしています。他のチャンネルをお選びください。
なし	予約されています。	視聴予約された番組です。
なし	予約チャンネルに切り替えます。	視聴予約された番組に切り換わります。
なし	未読メールがあります。	放送局や本機からのメールが来ています。機器情報メニューを使ってメールをご覧ください。
なし	B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードをご確認ください。	カードの裏表・挿入方向を確認して再挿入してください。
A10X	このB-CASカードはご使用になれません。ご覧の放送局のカスタマーセンターお問い合わせください。（A10X）	正しいB-CASカードを挿入してください。カードのIC部の汚れや、破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
A103	B-CASカードの交換が必要です。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。（A103）	カードのIC部の汚れや、破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。

●こんな表示が出たときは（つづき）

エラー番号	エラー内容	対応方法
A10X	この番組をご覧になるには契約が必要です。詳細はご覧の放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。(A10X)	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
830X	このチャンネルはご覧いただけません。ご覧の放送局のカスタマーセンターへご連絡ください。(830X)	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
	契約期限が切れています。ご覧の放送局のカスタマーセンターへご連絡ください。(830X)	契約期限が切れた番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と再契約をしてください。
	番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧の放送局のカスタマーセンターへご連絡ください。(830X)	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
E201	信号レベルが低下しています。(E201)	降雨対応放送に切り替わりました。気象条件などにより信号レベルが低下しています。条件が良くなるまで、しばらくお待ち下さい。
E202	信号を受信できません。(E202)	天候の影響、アンテナケーブルが切れている、アンテナの向きがずれているなどの理由で全く信号入力がないなど、アンテナ線の接続に問題がある可能性があります。アンテナケーブルが切れている場合はケーブルを交換し、正しく接続してください。
E203	現在放送されていません。(E203)	受信信号が弱い・無い、また放送終了後である可能性があります。地上デジタル放送の場合は、受信できる状態でいったん初期スキャンを行い、チャンネルを設定してください。
E204	このチャンネルはありません。(E204)	実在のチャンネルが割り当てられていない数字ボタンを押した場合に表示されます。実在のチャンネルが割り当てられた数字ボタンを押してください。
E209	BS・110度GSアンテナ線がショートしています。アンテナとの接続を確認してください。(E209)	アンテナ線 / ブースター / 分配器 / アンテナに不具合がある時、安全のため自動的にデジタル放送の機能を完全に停止することがあります。電源コードを一度抜いてから、再度挿入してください。アンテナ電源がオフの状態になっている場合は、オンの状態にして下さい。
なし	データ取得中	デジタル放送のデータ取得中です。そのままお待ちください。
	ネットワークにアクセスできません。ネットワークの接続を確認してください。	LAN回線の接続を確認してください。
	チャンネルが割り当てられていません。	チャンネルが割り当てられていない数字ボタンが押されました。別のチャンネルを選んでください。
	パソコン入力信号がないので、設定操作ができません。	VGAモードでの画像設定時にはパソコンからの入力信号が必要です。パソコンを立ち上げてください。
	標準モードでは動作しません。	パソコン画面は標準モードでは動作しません。他の画格をお選びください。
	予約された番組の放送が中止になりました。電子番組表で放送番組をご確認ください。	番組表でご確認ください。

用語の解説

下記は一般的な用語解説です。本機の仕様は異なっている場合があります。

110度CSデジタル放送

BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルのみを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

5.1ch

左右のフロントスピーカー、センタースピーカー、左右のサラウンドスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。臨場感と迫力のある音声を楽しむことができます。

AAC (Advanced Audio Coding)

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声圧縮方式です。高い圧縮率で高い音質を実現します。

B-CASカード

デジタル放送を見るために必要なICカードです。ユーザー認識のための番号や、チャンネルの契約・購入内容などの情報が記録されます。

BSデジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送です。高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。高音質のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組などへの参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

CATV (ケーブルテレビ)

同軸ケーブルや光ケーブルなどのケーブルを用いて行われる有線放送のことです。ケーブルテレビ局と契約することにより視聴できます。地域密着型の情報発信等が特徴でしたが、最近では多チャンネル放送や自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えてきています。

D端子

デジタル映像の圧縮データや高画質映像信号の伝送に適した、日本独自のコネクタの通称です。輝度信号（Y）と色差信号（Cb/Cr, Pb/Pr）で構成されるコンポーネント信号は従来3本のケーブルで接続していましたが、これを一本にまとめたものがD端子です。また、これらの信号の他に走査線数・走査方式・アスペクト比を切り換えるための識別信号の伝送も可能です。

EPG (Electronic Program Guide)

デジタル放送で放送局から送られてくる番組データを利用してつくる電子番組表のことです。

HDMI (High Definition Multimedia Interface)

PCとディスプレイの接続標準規格であるDVIに、マルチチャンネル音声伝送機能や著作権保護機能、色差伝送機能を加えるなどAV家電向けにアレンジしたインターフェースです。1本で非圧縮の映像・音声信号と制御信号を送ることができるので、AV機器間の連携が容易にできます。

MPEG (Moving Picture Experts Group)

デジタル動画圧縮技術の1つです。動画中の動く部分だけを保存するなどしてデータを圧縮します。デジタルテレビでは通常MPEG-2が採用されていますが、これは動画データを40分の1程度に圧縮することができます。

NTSC (National Television Standards Committee)

地上波アナログカラーテレビ放送の規格の1つで、日本や北米、中南米で採用されています。水平方向の走査線数が525本で毎秒30フレーム（1秒間に30回画面を書き換える）のインターレース方式で、水平走査周波数は15.75kHz、垂直走査周波数は60Hzです。

PCM (Pulse Code Modulation)

音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換する方式の1つです。音楽CD（CD-DA）はこの方式を採用しています。

PPV (Pay Per View)

（本機は対応していません）

番組単位で購入する有料番組のことです。

S映像端子

S端子は輝度信号（Y）と色信号（C）に別れた映像信号を送ります。このうち、色信号（C）に画面の縦横比の情報を乗せることで、テレビ側での自動判別を可能にしたものがS1/S2映像端子です。

イベントリレー

番組の途中で割り込みがあったり、その他の理由で番組が放送予定時間内に終わらなかった場合に、他のチャンネルで引き続き放送を行うことです。

インターレース (飛び越し走査)

NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線があります。このうち、まず奇数段目の走査線262.5本を1/60秒で描き（この画面を1フィールドといいます）、次に偶数段目を同様に描き、これを合わせることで525本の完全な画像（フレーム）を作っていく方式です。「525i」「1125i」の「i」は、このインターレース（interlaced）を指しています。

コピーワンス

デジタル放送のデータは基本的には何度コピーしても品質は劣化しません。このため、著作権保護のためにコピーは一度だけ可能という処理がされています。たとえば、お手持ちのハードディスクレコーダーに録画することは可能ですが、ハードディスクから更にDVD等に二回目のコピーをすることは出来ません。

コンポジット接続

通常の映像端子を使って映像信号を伝送する、最も普及している方式です。映像端子は通常1つのみで、音声端子と同じ形状で、色は黄色です。赤と白の音声出力と一緒に3本で接続するのが一般的です。

緊急警報放送

地上デジタル/BSデジタルのマルチ放送を利用し、地震などの災害時に放送される緊急ニュースなどを流します。

降雨対応放送

激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に平行して降雨に強い方式で同じ番組を放送するものです。

字幕放送

せりふなどの音声を、文字にして画面に表示することができる放送です。

走査線

テレビでは、映像を細い糸のように分解し、横方向に走らすことによって画面を作っています。この糸を走査線といいます。走査線の数が多いほど画質がよくなります。

地上デジタル放送

2003年12月から一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して放送されます。ゴーストの無い高画質な映像と多チャンネルの放送を楽しむことができます。デジタルハイビジョン放送やデータ放送、双方向サービスなどを楽しむことができます。

デジタルハイビジョン放送

通常のアナログ放送の走査線が525本であるのに対し、1125本や750本のプログレッシブの高画質な映像です。大画面の映像に適しています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、全ての走査線を順番に描く方法です。インターレースに比べて画像のチラツキが少なく、文字や静止画を表示することに適しています。「525p」や「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を指しています。

マルチチャンネル放送

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号（SD）で、1つの放送局で複数の番組を放送することです。

マルチビュー放送（本機は対応していません）

前述のマルチチャンネルの技術を使って、同じ番組を別の視点から見た映像を見るなど、複数の映像を切り換えて見ることができます。

有効走査線数

走査線の中で、映像信号が載っている走査線の数をいいます。地上アナログでは525本の走査線のうち有効走査線数は480本、デジタルハイビジョンでは1125本のうち1080本となっています。有効走査線ではない走査線には、画面の縦横比を規定した識別制御信号などが載っています。

臨時放送

前述のマルチチャンネルの技術を使って、同一放送局の他チャンネルで臨時の放送を行うことです。

● 主な仕様

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

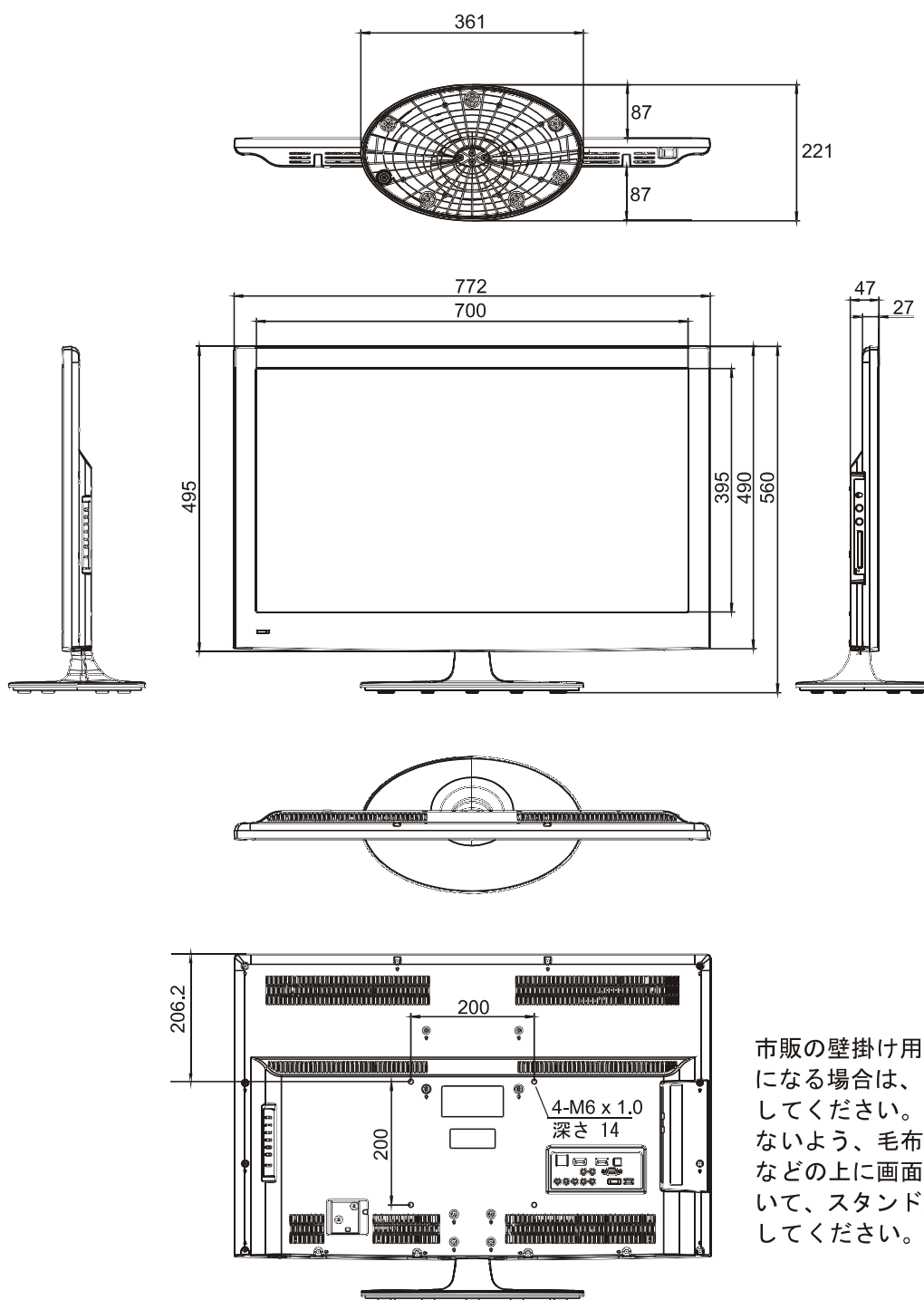
		BS・110度CS・地上デジタルチューナー内蔵 ハイビジョン液晶テレビ 32型
型名	LHD32K15JP	
使用電源	AC 100 V 50 / 60 Hz	
消費電力*1 / 待機電力	80 W / 1.0 W ([主電源] がオフの場合は0 W、E P Gダウンロード時は15 W)	
年間消費電力*2	69 kWh	
受信チャンネル	地上アナログ	VHF ch1 ~ ch12 / UHF ch13 ~ ch62 CATV c13 ~ c63
	地上デジタル	UHF/CATV (パススルー方式)*3 000 ~ 999
	BS デジタル	000 ~ 999
	CS デジタル	000 ~ 999
音声出力	6W × 2	
光音声出力	- 15 ~ - 21dB (mW) 波長 660nm EIAJ CP-1201 準拠 AAC 5.1CH 出力 / PCM 2CH 出力 IEEE 60958 フォーマット	
液晶パネル アスペクト比	16 : 9	
画素数	1,366 × 768	
画面寸法 (横 × 縦)	69.8 × 39.8 cm	
最大色数	1,670 万色	
パネルコントラスト比	3,000:1	
視野角 上下 / 左右	176° / 176°	
応答速度	6.5 ms	
接続端子	HDMI 映像 / 音声入力 (Ver. 1.3) × 2 D端子入力 (D5 映像) + ステレオ音声入力 × 1 コンジット映像 + ステレオ音声入力 × 1 PC-アナログ映像 + ステレオ音声入力 × 1 BS・CS110度アンテナ入力 × 1 地上アナログ・地上デジタル共用アンテナ入力 × 1 光デジタル音声出力 × 1 ヘッドホン出力 × 1 LAN端子 × 1	
PC 解像度	640 × 480 @ 60 / 72 / 75 Hz 720 × 400 @ 70 Hz 800 × 600 @ 56 / 60 / 72 / 75 Hz 1024 × 768 @ 60 / 70 / 75 Hz 1360 × 768 @ 60 Hz (ドット・バイ・ドット表示)	
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	772 × 560 × 221 mm (スタンドあり) 772 × 495 × 47 mm (スタンドなし)	
質量	9.2 kg (スタンドあり)、8.7 kg (スタンドなし)	
使用環境 / 保管環境	温度 : 0°C ~ 35°C / - 20°C ~ 60°C 湿度 : 20% ~ 65%RH / 10% ~ 80%RH (結露なきこと) 高度 : 0 ~ 1,980m / 0 ~ 2,980m	

*1 定格消費電力 電気用品安全法に基づき算出しています。

*2 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、工場出荷時の画質設定を標準設定として測定しています。

*3 同一周波数パススルー方式 (UHF)、周波数変換パススルー方式 (VHF) の両方に対応。

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。



市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

単位：mm

ハイセンス および **Hisense** は、海信日本株式会社の登録商標または商標です。

HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。

その他記載の会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

当取扱説明書の著作権は海信日本株式会社に帰属いたします。海信日本株式会社の許諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されてます。

● 保証とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではご利用いただけません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

保証書について

本機には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、販売店よりお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」をご参照いただき、故障かどうかお調べください。

それでも具合が悪いときは

弊社サポートセンターへお問い合わせください。

● 電話によるお問い合わせ

受付時間：月曜～金曜 9:00 ～ 17:30（祝祭日、年末年始、夏季休業期間を除く）

フリーダイヤル：0120-987-924

携帯電話・PHSなどからのご利用は：050-5529-0573（有料）

● FAXによるお問い合わせ

FAX番号：050-5529-0574（有料）

※お客様のご連絡先、型番、購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

● メールによるお問い合わせ

電子メールでのお問い合わせは：

support@hisense.co.jp

受付時間：受付24時間。土日・祝祭日を挟んだ場合およびご質問の内容によっては、回答までに日数がかかる場合があります。予めご了承ください。

※サポート受付に関しては変更させていただく場合がございます。

弊社ホームページでサポート時間などをご確認の上、ご利用されるようお願いいたします。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

● ご相談になるときは以下のことをお知らせください。

型名 : LHD32K15JP

使用状況や故障の状態（できるだけ詳しく）:

購入年月日 :

年 月 日

お買い上げ店

Hisense[®]
ハイセンス

海信日本株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東1-6-6 古茂田ビル502

[Http://www.hisense.co.jp/](http://www.hisense.co.jp/)

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。

© Hisense Japan Co. Ltd.

Ver. LHD32K15JP. 2011. 02. 24